

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①	学生確保の見通し	2
ア	定員充足の見込み	2
イ	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	2
ウ	学生納付金の設定の考え方	10
②	学生確保に向けた具体的な取組状況	10
ア	不特定対象者への広報の方法	10
イ	現役学生への広報	10
ウ	企業・医療機関等の従事者への広報	10
2	人材需要の動向等社会の要請	
①	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	11
②	①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	12

学生の確保の見通し等を記載した書類

大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程における学生確保の見通し及び申請者としての取組状況は以下の通りである。

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

神奈川県立保健福祉大学（以下、本学）大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（以下、本博士課程）は、急激な少子高齢化の進行、様々な保健医療課題に直面する中、健康寿命の延伸や未病を改善して市民一人一人が生きがいを持った人生を送ることができる社会を実現するため、既存の概念にとらわれない課題解決の方策が必要であることから、起業家精神を持ち、公衆衛生の視点による科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くし、未来を牽引することができる国際的高度専門人材の養成を行う。本研専攻では、ディスカッションなどを中心に、積極的な能動的学修（アクティブ・ラーニング）を始めとした実践的な教育・研究を実施することから、少人数での教育が主であると考え、入学定員 2 人、収容定員 6 人とする。この定員設定については、教育方法や環境の他、公衆衛生分野における競合他大学院の動向や、大学生・社会人および企業・団体等を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、社会的な需要などを総合的に判断し、設定を行っており、定員充足に問題がないと判断している。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1) 競合他大学院の充足状況

令和 2 年 3 月時点において、公衆衛生学に関連する博士の学位が取得可能な博士課程（博士後期課程含む）は、関東圏に国立大学 2 校と、私立大学 3 校が所在している。各大学のホームページより、収容定員と在籍学生数の充足状況について調べた結果、5 大学のうち 4 大学で充足しており、安定的な学生確保がなされていることが分かった。

本学では入学定員 2 人、収容定員 6 人と競合する大学院と比較し、定員設定を少数としている。少人数でより研究に集中できる環境を提供できるなど、入学希望者には競合する大学院にはない本学でのメリットを説明し、差別化を図ることで、安定的な学生の確保につなげたいと考えている。（資料 1：関東圏内の公衆衛生大学院の充足状況）

2) 本学大学院の募集状況

以下の表 1 は、本学におけるヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の令和元年 5 月時点における在学生数である。同修士課程は令和元年に開設してい

るため現時点でまだ1年生のみが在籍しているが、以下の表1の通り、入学定員15人のところ、17人が在籍しており、問題なく充足している。なお、本博士課程の受験希望者の一定数は、同修士課程の修了者であることを想定しているため、同修士課程の充足は本博士課程の学生確保においても重要であると考え、今後も修士課程の充足状況を保つために募集活動を注力していく。

本学における保健福祉学研究科保健福祉学専攻については、表2で博士前期課程と博士後期課程の出願者数推移を示しているが、博士後期課程のみ、平成31年度の出願者が減少しているが、博士前期課程をはじめとするその他の年度では、堅調に推移しており、本学が行う研究・教育が受験生より高く評価を得ているものと考えている。本博士課程においても、本学が行ってきた研究・教育への評価を生かし、学生の確保を行っていく。

(表1：本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士の在籍者数)

名称	入学定員	1年生	2年生
ヘルスイノベーション研究科(修士課程)	15人	17人	—

(表2：本学保健福祉学研究科保健福祉学専攻の出願者推移)

名称	募集定員	H30年度	H31年度	R2年度
保健福祉学研究科(博士前期課程)	20人	37人	35人	24人
保健福祉学研究科(博士後期課程)	5人	5人	3人	6人

3) アンケートの結果

本博士課程の定員充足の見通しについて、第三者機関に依頼のもと、受験が想定される各対象に向けてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は、①本学に在学する大学院修士課程と博士前期課程および入学予定者、②本学と神奈川県が主催した公衆衛生に関するセミナーの受講者で、ともに調査用紙を用いた対面形式でのアンケート調査に加え、③医療従事者のみをターゲットに、WEBを活用したアンケート調査、④会社員を中心としたWEBアンケート調査を行い、それぞれ受験・入学意欲について質問した。各アンケートの結果は以下の通りである。

◆アンケート調査1：本学大学院修士課程および博士前期課程、入学予定者を対象としたアンケートの結果

上記の通り、修士課程および博士前期課程、入学予定者を対象とし、31人より回答を得た。なお、31人のうち、本博士課程が開設する令和3年4月に入学可能な者は26人で、残りの5人はヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程に令和2年4月の入学予定者となっている。また、本博士課程には受験資格を設けているが、その1つに「修士の学位や専門職学位を有する者又は受験する年度末に当該学位を取得見込の者」と

していることから、本アンケート調査対象者は受験資格に該当している。

本博士課程が開設する令和3年4月に入学可能な26人のうち、本博士課程へ「受験したい」かつ、「入学したい」と回答したものは3人となっており、入学定員を上回る回答を得られた。なお、設置の趣旨等を記載した書類にて説明しているが、本博士課程の授業は英語をベースとしている。上記の本博士課程へ「受験したい」かつ、「入学したい」と回答した3人のうち、2人はヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在籍者であり、同修士課程においても本博士課程と同レベルの英語での授業を展開していることから、本博士課程での履修にはなんら影響がないと考えている（表3）。また、本博士課程へ「受験したい」かつ、「入学したい」と回答した3人のうち、1人は本学保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期課程に在籍している者で、英語スキルについては現時点で不明であることから、本アンケート調査内で英語による授業への印象について質問したところ、「心配はあるが、問題ないと思う」と回答しており、受験・入学への可能性は十分にあると考えられる（表4）。

また、受験意欲に関する回答で、「将来、必要を感じた時に入学したい」と回答した在籍者も複数人いることに加え、令和2年4月にヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の入学を予定する者5人のうち、2人が入学意欲を示していることから、令和3年4月の開設時のみでなく、その後の受験・入学意欲を示す回答を得ることができた（表5）。

以上の通り、本学の修士課程および博士前期課程の在籍者のうち、本博士課程の入学定員2人を上回る強い入学意欲を示す回答を得られたことから、学生確保は十分に可能であると考えられる。

表3：本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程在籍者による受験・入学意欲

	合格した場合、入学したい	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい
受験したい	2人	0人
将来、必要を感じた時に受験したい	2人	1人
合計	4人	1人

表4：本学保健福祉研究科保健福祉専攻博士前期課程の在籍者による受験・入学意欲

所属 (問3)	受験意欲 (問6)	英語スコア (問5)	英語による授業への 印象(問8)	合格した場合の入学 意欲(問10)
保健福祉(1年生)	受験したい	特になし	心配はあるが、問題ないと思う	入学したい
保健福祉(2年生)	受験したい	特になし	受講は難しい	入学したい

保健福祉(2年生)	将来、必要を感じた時に受験したい	特になし	心配はあるが、問題ないと思う	入学したい
保健福祉(2年生)	将来、必要を感じた時に受験したい	特になし	心配はあるが、問題ないと思う	併願大学の結果によっては入学したい
保健福祉(2年生)	将来、必要を感じた時に受験したい	特になし	受講は難しい	併願大学の結果によっては入学したい
保健福祉(2年生)	将来、必要を感じた時に受験したい	特になし	受講は難しい	併願大学の結果によっては入学したい

表5：本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程入学予定者による受験・入学意欲

	合格した場合、入学したい	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい
受験したい	1人	0人
将来、必要を感じた時に受験したい	1人	1人
合計	2人	1人

(資料2：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」設置構想に係る入学意向アンケート調査報告書(対象：神奈川県立保健福祉大学大学院博士前期課程、修士課程の在学者、入学予定者))

また、上記実施時点(令和2年3月)において回答がなかった、本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学者23人に対して、令和2年8月に改めてアンケート実施を依頼し、22人より回答が得られた。なお、前回実施分は令和2年3月であるのに対し、今回は令和2年8月に実施したため、それぞれ対象学年が1つ上がっている。(前回1年生は、今回修士課程の2年生。前回入学予定者は、本学修士課程の1年生となる。)従って、22人のうち、本博士課程が開設する令和3年4月に入学可能な者は現2年生である10人で、残りの12人は開設2年目以降の入学対象となる1年生である。

本アンケートより得られた本博士課程への入学意欲は下記の表6の通りであるが、現2年生10人のうち、8人が「受験したい」、そのうち、6人が「合格した場合、入学したい」と回答した。なお、入学意欲を示した6人のうち、4人は本博士課程の入学選抜時の基準を上回る英語スコアを保持していた。ただし、上記にて説明している通り、本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学者は、同修士課程においても本博士課程と同レベルの英語での授業を展開していることから、本博士課程での履修にはなんら影響がないと考えている。

今回実施したアンケート(令和2年8月実施分で、回答時2年生)と、資料1で示したアンケート(令和2年3月実施分で、回答時1年生)の回答者のうち、本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学者で、本博士課程の開設時の入学対象者は15人いる。そのうち、今回実施したアンケートで得られた本博士課程への「受

験したい」かつ、「入学したい」は6人、資料1で示したアンケートで「受験したい」かつ、「入学したい」は2人で、合計すると8人となった。これにより、本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学者のみで考えた場合でも、本博士課程の入学定員2人を上回る入学意欲を得られた。

さらに、表6で示す通り、今回実施したアンケート22人のうち、12人は開設2年目以降の入学対象となる現・1年生である。12人のうち、「受験したい」かつ、「入学したい」と回答した者は6人おり、そのうち3人は、本博士課程の入学選抜時の基準を上回る英語スコアを保持していることが分かった。

本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学者は、修士課程から引き続き研究に取り組めることや、教員との連携などをはじめ、様々なアドバンテージがあることから、本博士課程の入学対象者としてもっとも想定できる対象だと考えている。その現・2年生および現・1年生から得られた入学意欲は、それぞれ本博士課程の入学定員を上回る結果となっていることから、安定的な学生確保は十分可能だと考えている。

(資料3：『神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」設置構想に係る入学意向アンケート追加実施の集計表』（対象：本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学者)）

表6：本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程在学者における受験・入学意欲（令和2年8月追加実施分）

所属 (問3)	英語スコア (問5・6)	受験意欲 (問7)	合格した場合の入学意欲(問10)
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEIC:900~990	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEIC:900~990	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEIC:900~990	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEIC:800~895	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEIC:500~595	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEFL:50~55	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEIC:800~895	受験したい	併願大学の結果によっては入学したい
ヘルスイノベーション(2年生)	TOEFL:56~60	受験したい	併願大学の結果によっては入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	TOEIC:900~995	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	TOEIC:700~795	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	TOEFL:91~95	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	TOEFL:86~90	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	受験したことがない	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	受験したことがない	受験したい	入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	TOEIC:700~795	受験したい	併願大学の結果によっては入学したい
ヘルスイノベーション(1年生)	TOEIC:600~695	受験したい	併願大学の結果によっては入学したい

◆アンケート調査2：神奈川県および神奈川県立保健福祉大学主催のセミナー参加者を対象としたアンケートの結果

本アンケートは、公衆衛生学に興味をもつ一般社会人や企業・団体に所属する社会人などが本博士課程への進学にどの程度興味を示すかの確認を目的に、神奈川県および本学が主催した「未病産業研究会 公衆衛生学講座」と「再生医療特論オープンセミナー」の受講生55人を対象にアンケートを行った。なお、受講生については事前に個人名での予約を行っており、重複がないことを確認している。

受講生55人のうち、本博士課程への受験資格をもつ者は最終学歴で「大学院（修士）卒」および「大学院（博士）卒」を選択したい23人となっている。そのうち、以下の表7が示す通り、1人が「受験したい」と回答し、入学意欲についても、「合格した場合、入学したい」と回答した。一方で、本博士課程が求める英語スコアに関する質問には、「特になし」との回答であった。

また、本博士課程に受験資格をもつ23人のうち、「将来、必要を感じた時に受験したい」に4人が回答し、うち、2人が「合格した場合、入学したい」と回答した。そのうち、1人より、本博士課程が求める英語スコアの回答が得られた。

本博士課程では英語による授業を開講するため、入学時にはTOEICで800点以上、TOEFL(iBT)で70点以上を目安に、英語スコアを求めているが、本アンケートにおいて英語スコアを回答した2人については、いずれも目安を上回っている。

以上の通り、神奈川県および本学が主催したセミナーの参加者においても、本博士課程への受験・入学を示す回答が得られたことから、本学在籍者以外からの学生確保も可能であると考えられる。また、今回のような公衆衛生に関連するセミナーは、本博士課程の学生確保にもつながる可能性が分かったため、引き続き、神奈川県と協力して機会を増やしたいと考えている。

表7：セミナー参加者から得られた受験・入学意欲の結果

職種	受験意欲	英語スコア	合格した場合の入学意欲
公務員・教職員・団体職員	受験したい	特になし	入学したい
公務員・教職員・団体職員	将来、必要を感じた場合には受験したい	TOEFL:86 TOEIC:935	入学したい
会社員（一般社員・管理職）	将来、必要を感じた場合には受験したい	特になし	入学したい
無回答	将来、必要を感じた場合には受験したい	特になし	併願大学の結果によっては入学したい
会社員（一般社員・管理職）	将来、必要を感じた場合には受験したい	TOEIC:810	無回答

（資料4：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」設置構想に係る入学意向アンケート調査報告書（対象：

神奈川県および神奈川県立保健福祉大学主催のセミナー参加の方)

◆アンケート調査3：医療従事者を対象としたWEBアンケートの結果

本博士課程の受験・入学希望者として、医療従事者を1つの対象であると想定していることから、インターネット調査会社協力のもと、WEBアンケートを実施した。抽出条件(①学歴が「大学院卒(修士課程および博士課程)」、②居住地が南関東圏(神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県)、③職業が医療従事者(医師・獣医師、薬剤師、看護師・保健師・助産師、その他医療職))に合致した登録者143人のうち、84人より配信期間内(1週間)に回答があった。

以下の表8が示す通り、回答者84人のうち2人が「受験したい」と回答し、そのうち1人が入学意欲についても、「合格した場合、入学したい」と回答した。なお、本博士課程が求める英語スコアに関する質問には、「受験したことがない」との回答であった。もう1人については入学意欲で、「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と回答し、かつ、本学が入学時に求める英語スコアの目安(TOEICで800点以上、TOEFL(iBT)で70点以上)にほぼ同水準の数値を示している。

また、本博士課程に受験資格をもつ84人のうち、「将来、必要を感じた時に受験したい」に12人が回答し、うち、8人が「合格した場合、入学したい」と回答した。そのうち、1人は本博士課程が求める英語スコア以上の数値について回答があった。この通り、医療従事者からも本博士課程への受験・入学を示す回答が得られる結果となった。

表8：医療従事者から得られた受験・入学意欲の結果

職種	受験意欲	英語スコア	合格した場合の入学意欲
医師・獣医師	受験したい	受験したことがない	入学したい
医師・獣医師	受験したい	TOEIC:700~795	併願大学の結果によっては入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:900~990	入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	覚えていない	入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
薬剤師	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:600~695	入学したい
薬剤師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
その他の医療職	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
薬剤師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:800~895 TOEFL:76~80	併願大学の結果によっては入学したい
その他の医療職	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:700~795	併願大学の結果によっては入学したい

医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	併願大学の結果によっては入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	併願大学の結果によっては入学したい

(資料5：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」入学意向に関するWEBアンケート調査報告書(対象：医療従事者))

◆アンケート調査4：主に会社員を対象としたWEBアンケートの結果

本博士課程の受験・入学希望者として、会社員および会社経営者なども対象であると考えている。したがって、調査3と同じ手法で、インターネット調査会社協力のもと、WEBアンケートを実施した。4つの抽出条件(以下の通り)に合致した登録者2万人のうち、337人より配信期間内(3日間)に回答があった。

※抽出条件

- ①職業：「会社勤務(一般社員、管理職)」「会社経営者・役員」「公務員・教職員・非営利団体職員」「専門職(弁護士・税理士等)」「大学院生」
- ②最終学歴：大学院卒(修士課程および博士課程) ※大学院生は修了見込み
- ③居住地：神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県
- ④神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程で設定する入学条件の語学スコア(TOEICスコア800以上 or TOEFLスコア71以上)を保有

回答者337人のうち、90人が「受験したい」と回答した。さらに、そのうち61人が「合格した場合、入学したい」と回答し、強い入学意欲を示した。なお、上記の抽出条件にて定めている通り、本アンケートの全回答者は、本博士課程が入学時において求める英語スコアを上回るスコア(TOEICスコア800以上 or TOEFLスコア71以上)を保持しており、かつ、修士課程および博士課程の修了者または修了見込みである者となっている。この通り、会社員および会社経営者などのうち、本博士課程が課す入学条件に問題がない対象者からの入学意欲が61人であり、本博士課程が設定する入学定員2人を大きく上回る回答結果を得られた。

(資料6：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」入学意向に関するWEBアンケート調査報告書(令和2年8月実施分))

以上の4つのアンケート調査を通じて、本博士課程が設定する入学定員2人を大きく上回る入学意欲を得られている。さらに、「将来、受験を感じた時に受験したい」と示し、英語スコアの目安を保有する者の合計が5人であること、また、入学時期が本博士課程の開設2年目以降となる本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の現・1年生(令和2年8月時点)による3人の強い入学意欲があることから、開設時およ

び開設後の学生確保は、問題ないと考えている。

ウ 学生納付金の設定の考え方

1) 授業料

授業料は、神奈川県立保健福祉大学条例（平成 14 年 12 月 条例第 67 号）により定められている学部生及び大学院修士課程学生と同様に、本博士課程についても年間 535,800 円とする。

2) 入学料

入学料は、神奈川県立保健福祉大学条例（平成 14 年 12 月 条例第 67 号）により定められている既設の大学院博士後期課程学生と同様に、本博士課程についても県内居住者 282,000 円、県外居住者 564,000 円とする。

3) 検定料

検定料は、神奈川県立保健福祉大学条例（平成 14 年 12 月 条例第 67 号）により定められている既設の大学院博士後期課程学生と同様に、本博士課程についても検定料 30,000 円とする。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

ア 不特定対象者への広報の方法

本学にて開催されるオープンキャンパス（年 1 回）や大学院説明会（年 1 回）にて大学院受験相談窓口を設け、大学院担当教員、事務職員などが対応する。また本学ホームページや県のホームページにより情報を積極的に発信する。また電話やホームページ上にての相談窓口を設置し、質問等に対する回答を行う予定である。

イ 現役大学院修士課程在籍者への広報

保健福祉系大学大学院へリーフレットを郵送し、掲示を依頼する予定である。また、本学の在学生に対しても、説明会などを行う予定である。

ウ 企業・医療機関等の従事者への広報

県内・都内の医療機器や製薬を始めとした企業やシンクタンク、医療機関、行政機関などリーフレットを配布し、一部の企業・医療施設等において、広報を予定している。また、本学では就職説明会を年 1 回開催しているが、その説明会へ参加している企業・医療施設担当者に対し、リーフレットの配布、説明を行う。

2. 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

人材養成の基本的な方向性は以下の通りである。

急激な少子高齢化の進行、様々な保健医療課題に直面する中、健康寿命の延伸や未病を改善して市民一人一人が生きがいを持った人生を送ることができる社会を実現するためには、既存の概念にとらわれない課題解決の方策が必要である。そこで本博士課程では、起業家精神を持ち、公衆衛生の視点による科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くし、未来を牽引することができる国際的高度専門人材養成を行うこととし、具体的に以下に示すような人材を育成する。

ア 高度研究人材

教育研究機関や企業内研究所などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる技術や社会システムの革新に関する高度な研究・開発を自ら行い、また牽引することができるリーダー人材

イ 高度マネジメントリーダー

企業や非営利法人などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる革新的な技術やサービスを具体的に産業化・組織化し、グローバルに展開するために組織を牽引できるリーダー人材

ウ 高度ヘルスケアプロバイダ

病院をはじめとした保健医療サービスの提供組織などにおいて、地域のニーズに則したサービスを高度かつ効果的・効率的に提供するために組織を牽引することができるリーダー人材

エ 高度ポリシーメーカー

国際機関や行政機関などにおいて、保健医療分野の課題解決に取り組む様々な組織・人材などを繋ぎ、保健医療課題の解決に資するエコシステムを構築することができるリーダー人材

以上の方向性に基づき、本博士課程では次の通りディプロマ・ポリシーを定める。

神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科(博士課程)は、本研究科規則に定められた教育課程の所定単位を修め、博士論文を提出の上、その審査および最終試験に合格した者に、博士(公衆衛生学)の学位を授与する。審査にあたっては、以下の点に到達していることを目安とする。

- ① 現代における保健医療の諸課題、最新のテクノロジーや社会システムを深く理解し、科学的な評価・分析に基づいて課題を抽出し、科学的根拠に基づいた革新的な課題解決の方策を提示することを通じて、保健医療における新たな社会的・経済的価値を生み出すことができる能力を身につけていること

- ② 保健医療の向上を担う高度専門職人材として、研究・産業・保健医療提供・行政などそれぞれの領域において、リーダーシップを発揮できる知識・専門性・教養・態度を有していること

- ② ①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 政府・公的機関等による報告書

平成 23 年 9 月に日本学術会議 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会が提言した、『わが国の公衆衛生向上に向けた公衆衛生大学院の活用と機能強化』によると、「わが国は新たな健康・医療問題及び環境リスクや食の安全の問題などに直面 (P.1)」しており、「このような様々な健康・医療問題への対応は、わが国の喫緊の課題であり、人間集団の健康を対象にした調査・分析の手法を身につけ、保健医療に関わる社会制度や社会自然環境が人々の健康や安全に及ぼす影響を体系的に理解し、政策立案・マネジメント能力に優れた、より高度な公衆衛生の専門家養成が求められている (P.1)」と公衆衛生学を修得した人材の必要性について提言している (日本学術会議『わが国の公衆衛生向上に向けた公衆衛生大学院の活用と機能強化』, 2011)。

また、平成 17 年に答申された中央教育審議会「新時代の大学院教育」においては、公衆衛生大学院の整備について「医療疫学、医療経済、予防医療、国際保健、病院管理等の幅広い分野を含む公衆衛生分野の大学院については、高齢化等の進展に対応して、また、医学、歯学、薬学等のヒトを対象とした臨床研究・疫学研究の推進を図るためにも、公衆衛生分野における高度専門職業人の育成が課題となっている」と指摘している (中央教育審議会『新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－答申』, 2005, p89)。

さらに、平成 27 年 6 月に公表された「保健医療 2035 提言書」においても、20 年後を視野に入れた保健医療の新たなビジョンを達成するため、「公衆衛生大学院の増設等、特に地域での医療政策を主導できる人材の育成とキャリアアップを図る仕組みを創設する。また、医療機関の経営については、医学的な臨床やデータサイエンスのみならず、リーダーシップなどについても高めていくことが求められており、経営学や公衆衛生等の学際的な教育課程を今後充実させていかなければならない。」と述べられている。(「保健医療 2035」策定懇談会『保健医療 2035 提言書』, pp37-44, 2015)

我が国ではこれまでに例のない速度で進む少子高齢化の影響で、社会の大きな転換期に差し掛かっており、多様な課題や新たなニーズに対応するには、パラダイムシフトが必要であると考えられる。

我が国で進む急速な少子高齢化のもと、内閣府では『未来投資戦略 2017』において、わが国の中長期的な成長を実現させる鍵は社会課題の解決であるとし、健康寿命の延伸を重要な分野の一つとしている。この健康寿命の延伸に向けた具体的な施策として、「技術革新

を活用し、健康管理と病気・介護予防、自立支援に軸足を置いた、新しい健康・医療・介護システムの構築 (P. 39)」や「産学官民が一体となった健康維持・増進の取組促進 (P. 44)」、 「日本発の優れた医療薬・医療機器等の開発・事業化 (P. 44)」の他、「グローバル市場の獲得、国際貢献 (P. 46)」が挙げられている。また、神奈川県においても、ヘルスケア・ニューフロンティア政策を推進している。この政策は、超高齢社会の到来によって訪れる、かつて経験したことのない急激な社会変化を乗り越え、誰もが健康で長生きできる社会を実現するため、「未病の改善」と「最先端医療・最新技術の追求」という二つのアプローチによって新たな社会システムを構築することで、健康寿命日本一と新たな市場・産業の創出を目指すものである (資料7：神奈川県 未病がつくる健康長寿社会)。

このように、国および自治体で進む社会の急速な変化には、技術革新の活用すなわちイノベーションが重要な施策の一つであると示しており、保健医療分野の諸課題に対応する人材として、大学・企業・自治体など多様なフィールドにおいて、公衆衛生の視点とイノベーション創出の意思を持ち、保健医療分野の未来を牽引する高度専門人材育成することが強く望まれている。

本博士課程で養成する人材は上記の通りで、起業家精神を持ち、公衆衛生の視点による科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くし、未来を牽引することができる国際的・高度専門人材は、我が国が抱える社会課題の解決に向けて、重要な役割を果たせると考えている。

イ 第三者機関実施による企業・団体等へのアンケート調査

企業や団体における、本研究科で養成する人材の需要について、第三者機関に依頼のもと、アンケート調査を実施した。アンケートの対象は神奈川県が国民の健康寿命延伸と日本経済活性化を目指すとともに、次世代の新たなヘルスケア社会システムを構築し、国内外に向けて発信していくことを目的に立ち上げた未病産業研究会に加入する企業・団体 507 件を対象にメールにて依頼し、27 件より回答を得た。

27 件のうち、「製造業」(10 件)と「医療・福祉」(8 件)を業種とする企業・団体からの回答が目立った。また、本社および主たる事業所については、神奈川県 (14 件)と東京都 (13 件)のみとなっており、本博士課程が所在する神奈川県川崎市の近隣に位置する企業・団体からの回答となっている。

27 件には、本博士課程に対する社会的なニーズについて質問し、7 件が「ニーズが非常に高い」、13 件が「ある程度ニーズがある」と回答し、回答者の 7 割以上から、ニーズを示す回答を得られた。また、「設置の趣旨等を記載した書類」にて記しているが、本博士課程で学ぶ者の多くは社会人である事を想定しており、現職に留まりながら学ぶ学生が一定数いると考えている。そこで、企業・団体に対して従業員の派遣について質問したところ、33.3%にあたる 9 件が、「ぜひ派遣したい」および「派遣を検討したい」と回答し、理解を示した。

なお、本博士課程の修了生における採用意欲に関する質問については、27件のうち、2件（7.4%）が「採用したい」、15件（55.6%）が「採用を検討したい」と、本博士課程の入学定員2人を上回る17件の企業・団体より、採用意欲を示す回答を得られた。

（資料8：神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」設置構想に係る人材需要アンケート調査報告書）

以上の通り、本博士課程が養成する人材は、我が国や自治体による社会的な動向を踏まえていることに加え、アンケート調査の結果から、社会的、地域的に求められる人材であり、修了後の活躍が十分に期待されているものと考えている。

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

- 資料 1 関東圏内の公衆衛生大学院の充足状況
- 資料 2 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」設置構想に係る入学意向アンケート調査報告書
（対象：神奈川県立保健福祉大学大学院博士前期課程、修士課程の在学学生、入学予定者）
- 資料 3 『神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」設置構想に係る入学意向アンケート追加実施の集計表』（対象：本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学学生）
- 資料 4 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」設置構想に係る入学意向アンケート調査報告書
（対象：神奈川県および神奈川県立保健福祉大学主催のセミナー参加の方）
- 資料 5 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」入学意向に関する WEB アンケート調査報告書
（対象：医療従事者）
- 資料 6 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」入学意向に関する WEB アンケート調査報告書
（令和 2 年 8 月実施分）
- 資料 7 神奈川県 未病がつくる健康長寿社会
- 資料 8 神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」設置構想に係る人材需要アンケート調査報告書

【資料1】関東圏内の公衆衛生大学院の充足状況

資料1

大学院名	研究科名	専攻	収容定員	学生数	充足率	
東京大学大学院	医学系	健康科学・看護学専攻	75	91	121.3%	
筑波大学大学院	人間総合科学	ヒューマン・ケア科学専攻	54	111	205.6%	
帝京大学大学院	公衆衛生学	公衆衛生学	18	19	105.6%	
慶應義塾大学大学院	健康マネジメント	公衆衛生・スポーツ健康科学	10	13	130.0%	※開設2年目のため、2学年のみ
聖路加国際大学大学院	公衆衛生	公衆衛生	3	1	33.3%	※開設1年目のため、1学年のみ

注) 公衆衛生およびそれに関連する博士の学位の取得が可能

注) いずれも3年課程

* 各大学HPより参照

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」

設置構想に係る入学意向アンケート調査報告書

（対象：神奈川県立保健福祉大学大学院博士前期課程、修士課程の在学生、入学予定者）

令和 2 年 3 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	6

添付資料

「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程
(仮称) 設置構想に係る入学意向アンケート調査」 用紙

1 調査の概要

- ◆調査の目的 : 本調査は、神奈川県立保健福祉大学の大学院ヘルスイノベーション研究科が令和3年4月設置に向けて構想中の「ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」の学生確保の見通しを、アンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間 : 令和元年12月

- ◆調査対象 : 対象者は以下に在籍もしくは決定している者とした。
神奈川県立保健福祉大学大学院の、
 - ①ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 修士課程(1年生)
 - ②保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(1年生)
 - ③保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(2年生)
 - ④ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻 修士課程(令和2年度入学予定者)

- ◆調査方法 : 各対象にアンケート用紙を配布の上、回答後にその場で回収した。

- ◆調査内容 : アンケート項目は全11問で、すべて選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
『回答者の基本情報(性別・居住地・職業・最終学歴)について』
『回答者における神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)への評価、受験意欲について』

- ◆回収件数 : 31件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

2～5 ページは、アンケートで回答を得た 31 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	男性	8	25.8%
2	女性	23	74.2%
3	どちらでもない・答えたくない	0	0.0%
	計	31	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	神奈川県	25	80.6%
2	東京都	4	12.9%
3	千葉県	1	3.2%
4	埼玉県	0	0.0%
5	その他	1	3.2%
	計	31	100.0%

問3 あなたの所属する専攻・学年をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	ヘルスイノベーション専攻 修士課程(1年生)	7	22.6%
2	保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(1年生)	7	22.6%
3	保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(2年生)	12	38.7%
4	ヘルスイノベーション専攻 修士課程(令和2年度入学予定者)	5	16.1%
	計	31	100.0%

問4 あなたの現在の学習状況について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	学業に専念している (離職している)	3	9.7%
2	仕事を休職し、学業に専念している (退職していない)	1	3.2%
3	働きながら通学している	26	83.9%
4	その他	1	3.2%
	計	31	100.0%

問5 あなたの直近3年間の英語のスコアを教えてください。(当てはまるものすべてに○をし、スコアを記入)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 31 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	TOEFL (iBT)	3	9.7%
2	TOEIC (Listening&Reading Test)	10	32.3%
3	その他	1	3.2%
4	特になし	19	61.3%

問6 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	5	12.9%
2	将来、必要を感じた場合には受験したい	9	32.3%
3	受験しない	17	54.8%
	計	31	100.0%

以下の問7、問8、問9、問10は、問6で「1. 受験したい」、「2. 将来、必要を感じた場合には受験したい」を回答した 14 人を回答対象とした。

問7 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。
- ※ 構成比は、回答者 14 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	11	78.6%
2	養成する人材像に共感できるから	6	42.9%
3	希望するキャリアに近づけるから	6	42.9%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	7	50.0%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	5	35.7%
6	博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから	8	57.1%
7	その他	1	7.1%

問8 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で行われる、英語による授業への印象について教えてください。(あてはまるもの 1 つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	問題ない	1	7.1%
2	心配はあるが、問題ないと思う	8	57.1%
3	受講は難しい	3	21.4%
4	その他	2	14.3%
	計	14	100.0%

問9 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で、特にどの分野の研究内容に関心がありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生学の 5 領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	3	21.4%
2	研究論理や研究方法など、研究の推進に関する分野	1	7.1%
3	データサイエンスに関する分野	2	14.3%
4	グローバルな保健医療課題に関する分野	6	42.9%
5	その他	2	14.3%
	計	14	100.0%

問 10 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	9	64.3%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	5	35.7%
	計	14	100.0%

以下の問 11 は、問6で「3. 受験しない」を回答した 17 人を回答対象とした。

問 11 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答 17 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	現在の仕事やプライベートと学業との両立が難しいから	4	23.5%
2	他の大学院・研究科への進学を希望しているから	4	23.5%
3	更に詳細を知った上で検討したいから	4	23.5%
4	就職を希望しているから	4	23.5%
5	通学が不便、不便そうだから	0	0.0%
6	その他	1	5.9%

3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

● 回答者の主な属性と受験意欲への回答

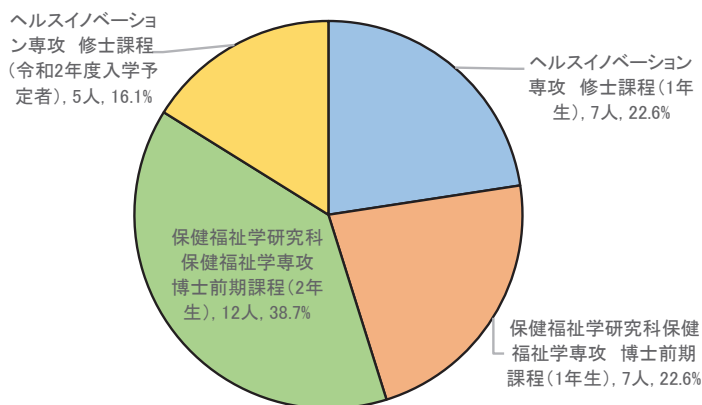
本調査は神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への受験および入学の可能性がもっとも高いと考えられる、神奈川県立保健福祉大学大学院の修士課程もしくは博士前期課程の在籍者および入学予定者を対象に実施し、31人より回答を得た。

回答者31人の所属を質問したところ、「ヘルスイノベーション専攻 修士課程(1年生)」が7人、「保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(1年生)」が7人、「保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(2年生)」が12人、「ヘルスイノベーション専攻 修士課程(令和2年度入学予定者)」が5人となっている。

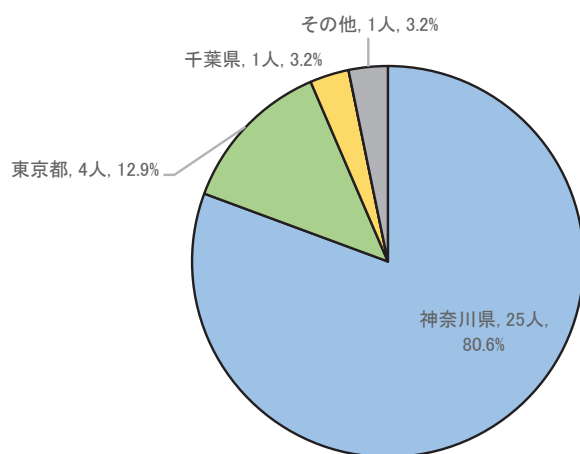
また、回答者31人の居住地については、80.6%にあたる25人が「神奈川県」となっている。その他では、「東京都」が4人(12.9%)、「千葉県」と「その他」がそれぞれ1人(3.2%)で構成されている。

回答者31人に対して、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への受験意欲について質問したところ、「受験したい」に5人(16.1%)、「将来、必要を感じた場合には受験したい」に9人(29.0%)が回答し、合計で14人より受験意欲を示す回答が得られた。

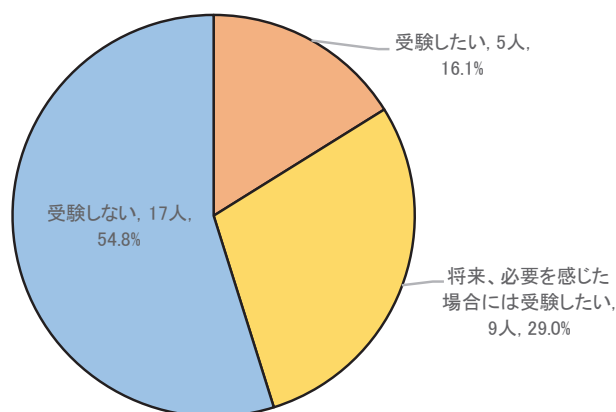
グラフ 回答者が所属する専攻・学年（「問3」結果より）



グラフ 回答者の居住地（「問2」結果より）



グラフ ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程への受験意欲（「問6」結果より）



● 回答のあった受験意欲と入学意欲のクロス集計結果

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程（仮称）を受験したいと回答した 14 人のうち、9 人が「合格した場合、入学したい」と回答し、入学意欲を示す回答が得られた。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への受験意欲（問 6）と入学意欲（問 10）の関係を表にしたところ、「受験したい」と回答した 5 人については、全員が「合格した場合、入学したい」と回答した。また、「将来、必要を感じた時に受験したい」と回答した 9 人については、4 人が「合格したい場合、入学したい」と回答、5 人が「併願大学の結果によっては入学したい」と回答し、強い入学意欲を示す回答を一定数得られた。

表 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程への受験×入学意欲（「問6」「問10」結果より）

	合格した場合、入学したい		合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
受験したい	5人	55.6%	0人	0.0%
将来、必要を感じた時に受験したい	4人	44.4%	5人	100.0%
合計	9人	100.0%	5人	100.0%

● 回答者の属性ごとの受験・入学意欲と、英語スキルの関係。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）では、英語による授業が開講されることから、入学者に対しては一定の英語スキルが求められるため、対象者ごとに受験・入学意欲と英語のスキルおよび英語での授業への意欲についてまとめた。

①神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程1年生の場合

当該修士課程1年生は、既に修士課程の入学時および授業時において同レベルの英語スキルが求められており、当該博士課程においても問題なく受講できると考えられる。以下の表は神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程1年生のみでの受験・入学意欲に関する表であるが、該当者7人のうち、2人が「受験したい」と回答し、さらに2人とも「合格した場合、入学したい」と回答しており、強い入学意欲を示した。また、「将来、必要を感じた時に受験したい」には3人が回答し、うち2人が「合格した場合、入学したい」と回答している。

以上の結果、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）の入学定員は2人を予定しているが、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程1年生の2人より、強い入学意欲を示す回答が得られた。

表 ヘルスイノベーション専攻修士課程1年生による受験・入学意欲（「問6」「問10」結果より）

	合格した場合、入学したい	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい
受験したい	2人	0人
将来、必要を感じた時に受験したい	2人	1人
合計	4人	1人

②神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の令和2年度入学予定者の場合

当該修士課程の令和2年度入学予定者5人については、既に修士課程の入学試験の際に、同レベルの英語スキルを求めている上で合格した者であることから、当該博士課程においても問題なく受講できると考えられる。

以下の表は神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の令和2年度入学予定者のみの受験・入学意欲に関する表であるが、対象者5人のうち、1人が「受験したい」と回答し、かつ、「合格した場合、入学したい」と回答し、強い入学意欲を示した。また、「将来、必要を感じた時に受験したい」には2人が回答し、うち1人が「合格した場合、入学したい」と回答している。なお、当該修士課程の令和2年度入学予定者については、博士課程へ入学できるのは開設2年目の令和4年度となっているが、現時点において強い入学意欲を示している回答が得られた。

表 ヘルスイノベーション専攻修士課程令和2年度入学予定者による受験・入学意欲（「問6」「問10」結果より）

	合格した場合、入学したい	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい
受験したい	1人	0人
将来、必要を感じた時に受験したい	1人	1人
合計	2人	1人

③神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科保健福祉学専攻の博士前期課程1年生および2年生の場合

当該博士前期課程1年生および2年生については、英語スキルが不明であるため、アンケート問6にて直近の英語スキルについて質問をしたところ、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程を「受験したい」と回答した2人と、「将来、必要を感じた場合には受験したい」と回答した4人は、いずれも

「特になし」との回答であった。

そこで、問 8 の英語による授業への印象に対する回答と受験・入学意欲をまとめたものが以下の表である。「受験したい」と回答した 2 人は、ともに「入学したい」と回答しているが、英語による授業に対しては、1 名が「心配はあるが、問題ないと思う」と回答している一方で、もう 1 人は「受講は難しい」と回答した。

また、「将来、必要を感じた時に受講したい」と回答した 4 人のうち、2 人が英語による授業に対して「心配はあるが、問題ないと思う」と回答し、そのうちの 1 人が「合格した場合、入学したい」と回答した。

表 保健福祉学専攻博士前期課程 1 年生・2 年生による受験・入学意欲（「問 6」「問 10」結果より）

所属 (問3)	受験意欲 (問6)	英語スコア (問5)	英語による授業への 印象(問8)	合格した場合の入学 意欲(問 10)
保健福祉(1 年 生)	受験したい	特になし	心配はあるが、問題な いと思う	入学したい
保健福祉(2 年 生)	受験したい	特になし	受講は難しい	入学したい
保健福祉(2 年 生)	将来、必要を感じた時に 受験したい	特になし	心配はあるが、問題な いと思う	入学したい
保健福祉(2 年 生)	将来、必要を感じた時に 受験したい	特になし	心配はあるが、問題な いと思う	併願大学の結果によっ ては入学したい
保健福祉(2 年 生)	将来、必要を感じた時に 受験したい	特になし	受講は難しい	併願大学の結果によっ ては入学したい
保健福祉(2 年 生)	将来、必要を感じた時に 受験したい	特になし	受講は難しい	併願大学の結果によっ ては入学したい

注) 所属は以下の通り、略称を使っている。

保健福祉 (1 年生) : 保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程 (1 年生)

保健福祉 (2 年生) : 保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程 (2 年生)

● 受験意欲と入学意欲のまとめ

上記の対象者別の神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への受験・入学意欲と、英語による授業に対する条件や意欲を勘案すると、当該博士課程開設初年度（令和 3 年 4 月）における強い入学意欲を示し、かつ、英語スキルが問題ないと考えられるのは「3 人」で、その内訳は「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在籍者」2 人と、「神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期

課程の在籍者」1人となっている（開設する令和3年度の受験対象者のうち、問6で「受験したい」×問10で「合格した場合、入学したい」を回答した者の合計）。

また、当該博士課程開設2年目以降の受験・入学意欲については、問6で「将来、必要を感じた時に受験したい」と回答し、かつ、英語スキルに問題がなく、問10で「入学したい」と回答した者の合計となるが、合わせて5人となり、内訳は「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在籍者」2人と、「神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の入学予定者（当該博士課程への入学は早くても開設2年目以降となるため、問6で「受験したい」と「将来必要を感じた時に受験したい」の合計）」2人と、「神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期課程の在籍者」1人となり、当該博士課程の開設時に加え、将来の入学意欲についても回答が得られた。

以上より、神奈川県立保健福祉大学が令和年3年4月に構想中である「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」の予定する入学定員2人を上回る入学意欲を示す回答が得られたことから、学生確保は問題ないと判断できる。

添付資料

「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)
設置構想に係る入学意向アンケート調査」 用紙

公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程

(仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期:2021(令和3)年
- 開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限:3年
- 入学定員:2人
- 取得学位:博士(公衆衛生学) ※英訳 Doctor of Philosophy
- 養成する人材像:

- ①高度研究人材…教育研究機関や企業内研究所などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる技術や社会システムの革新に関する高度な研究・開発を自ら行い、また牽引することができるリーダー人材
- ②高度マネジメントリーダー…企業や非営利法人などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる革新的な技術やサービスを具体的に産業化・組織化し、グローバルに展開するために組織を牽引できるリーダー人材
- ③高度ヘルスケアプロバイダ…病院をはじめとした保健医療サービスの提供組織などにおいて、地域のニーズに則したサービスを高度かつ効果的・効率的に提供するために組織を牽引することができるリーダー人材
- ④高度ポリシーメーカー…国際機関や行政機関などにおいて、保健医療分野の課題解決に取り組む様々な組織・人材などを繋ぎ、保健医療課題の解決に資するエコシステムを構築することができるリーダー人材

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科博士課程では、公衆衛生学等の専門科目に加えて、次世代・次々世代社会をみすえたイノベーションを牽引する人材を育成するため、学生の興味関心に応じて、以下の内容を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	研究倫理や研究法、ヘルスイノベーション特論などの科目を学び、本専攻を修める全ての学生が共通して身につけるべき知識・教養・態度を習得する。
専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)を学ぶ。 さらに、データサイエンスやグローバルな保健医療課題に関してイノベーションの技法を用いて自ら課題解決に取り組むための知識・技法を学ぶ。
特別研究科目	学生の興味関心に応じた保健医療分野の具体的な課題を自ら設定し、博士論文を作成する。

【研究科の特色】

- 最先端技術等も含めた様々な専門領域の知恵を結集して保健医療課題にアプローチ。(トランスディシプリナリー教育)
- 主に夜間や土曜で授業を実施し、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 経験豊富な教員により、授業は原則全て英語で開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関と連携。

修了後の進路

本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- 製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融機関、IT関連企業などの従事者
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

受験資格

主に、次のいずれかに該当する方に受験資格があります。

- 修士の学位や専門職学位を有する者又は受験する年度末に当該学位を取得見込の者
- 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- 本学大学院において、出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、受験する年度末までに24歳に達する者

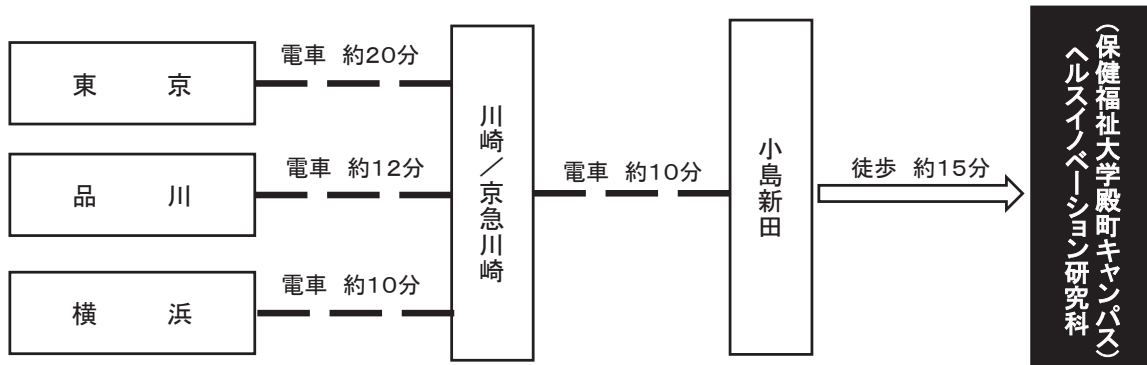
初年度学費（他の大学院含む）

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	その他	初年度学費
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科博士課程（仮称） 神奈川県川崎市	県内居住者 282,000 県外居住者 564,000	535,800	—	県内居住者 817,800 県外居住者 1,099,800
国立大学大学院	282,000	520,800	—	802,800
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 東京都板橋区	300,000	780,000	200,000	1,280,000
慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 神奈川県藤沢市	0	660,000	70,600	730,600
聖路加国際大学大 公衆衛生大学院 東京都中央区	400,000	1,200,000	300,000	1,900,000

※ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）の学費は予定です。
 ※他の大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます（2019年12月時点）。
 ※その他、諸会費が必要な場合があります。

国際戦略特区（※）に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。（住所：川崎市川崎区殿町3丁目地区）

アクセス



（※）ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

左記・上記の概要をご覧の上、質問にお答えください。

問6 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1. 受験したい
 - 2. 将来、必要を感じた場合には受験したい
 - 3. 受験しない
- 1・2の方は **問8** **問9** **問10** **問11** にお答えください。
 → 3の方は **問12** にお答えください。

4ページにも質問がございます。

【資料3】

資料3

神奈川県立保健福祉大学「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」
設置構想に係る入学意向アンケート追加実施の集計表
(対象: 本学ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程の在学生)

<対象: 令和2年8月時点での2年生の10人>

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	男性	6	60.0%
2	女性	3	30.0%
3	どちらでもない・答えたくない	1	10.0%
合計		10	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	神奈川県	5	50.0%
2	東京都	5	50.0%
3	千葉県	0	0.0%
4	埼玉県	0	0.0%
5	その他	0	0.0%
合計		10	100.0%

問3 あなたの所属する専攻・学年をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	ヘルスイノベーション専攻 修士課程(2年生)	10	100.0%
2	保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(1年生)	0	0.0%
3	保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(2年生)	0	0.0%
4	ヘルスイノベーション専攻 修士課程(1年生)	0	0.0%
合計		10	100.0%

問4 あなたの現在の学習状況について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	学業に専念している(離職している)	1	10.0%
2	仕事を休職し、学業に専念している(退職していない)	1	10.0%
3	働きながら通学している	8	80.0%
4	その他	0	0.0%
合計		10	100.0%

問5 あなたの直近3年間のTOEIC (Listening & Reading Test)スコアを教えてください。(スコアを記入)

※記入のあった回答を以下の通り集計した。

選択項目	回答数	構成比
400～495	1	10.0%
500～595	1	10.0%
800～895	2	20.0%
900～995	4	40.0%
受験したことがない	2	20.0%
合計	10	100.0%

問6 あなたの直近3年間のTOEFL (iBT) のトータルスコアを教えてください。(スコアを記入)

※記入のあった回答を以下の通り集計した。

選択項目	回答数	構成比
50～55	1	10.0%
56～60	1	10.0%
76～80	1	10.0%
96～100	1	10.0%
受験したことがない	6	60.0%
合計	10	100.0%

問7 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1 受験したい	8	80.0%
2 受験しない	2	20.0%
合計	10	100.0%

以下は問7で、「1. 受験したい」を選択した5人のみに回答を求めた。

問8 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験をしたい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※回答者=8人

選択項目	回答数	構成比
1 教育内容に興味・関心があるから	7	140.0%
2 養成する人材像に共感できるから	5	100.0%
3 希望するキャリアに近づけるから	2	40.0%
4 少人数制の教育でじっくり学べるから	5	100.0%
5 神奈川県や近隣企業と連携しているから	3	60.0%
6 博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから	3	60.0%
7 その他	0	0.0%

問9 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で行われる、英語による授業への印象について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	問題ない	4	50.0%
2	心配はあるが、問題ないと思う	4	50.0%
3	受講は難しい	0	0.0%
4	その他	0	0.0%
合計		8	100.0%

問10 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で、特にどの分野の研究内容に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	3	37.5%
2	研究論理や研究方法など、研究の推進に関する分野	1	12.5%
3	データサイエンスに関する分野	3	37.5%
4	グローバルな保健医療課題に関する分野	1	12.5%
5	その他	0	0.0%
合計		8	100.0%

問11 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	6	75.0%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	2	25.0%
合計		8	100.0%

以下は、問7で、「2. 受験しない」を選択した2人のみに回答を求めた。

問12 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※回答者＝2人

選択項目		回答数	構成比
1	現在の仕事やプライベートと学業との両立が難しいから	1	50.0%
2	他の大学院・研究科への進学を希望しているから	1	50.0%
3	更に詳細を知った上で検討したいから	0	0.0%
4	就職を希望しているから	0	0.0%
5	通学が不便、不便そうだから	0	0.0%
6	その他	0	0.0%

<対象:令和2年8月時点での1年生の12人>

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	男性	5	41.7%
2	女性	7	58.3%
3	どちらでもない・答えたくない	0	0.0%
合計		12	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	神奈川県	5	41.7%
2	東京都	5	41.7%
3	千葉県	0	0.0%
4	埼玉県	1	8.3%
5	その他	1	8.3%
合計		12	100.0%

問3 あなたの所属する専攻・学年をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	ヘルスイノベーション専攻 修士課程(2年生)	0	0.0%
2	保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(1年生)	0	0.0%
3	保健福祉学研究科保健福祉学専攻 博士前期課程(2年生)	0	0.0%
4	ヘルスイノベーション専攻 修士課程(1年生)	12	100.0%
合計		12	100.0%

問4 あなたの現在の学習状況について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	学業に専念している(離職している)	2	16.7%
2	仕事を休職し、学業に専念している(退職していない)	0	0.0%
3	働きながら通学している	9	75.0%
4	その他	1	8.3%
合計		12	100.0%

問5 あなたの直近3年間のTOEIC (Listening & Reading Test)スコアを教えてください。(スコアを記入)

※記入のあった回答を以下の通り集計した。

選択項目		回答数	構成比
	500～595	1	8.3%
	600～695	1	8.3%
	700～795	4	33.3%
	800～895	1	8.3%
	900～995	1	8.3%
	受験したことがない	4	33.3%
合計		12	100.0%

問6 あなたの直近3年間のTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。(スコアを記入)

※記入のあった回答を以下の通り集計した。

選択項目		回答数	構成比
	86～90	1	8.3%
	91～95	1	8.3%
	受験したことがない	10	83.3%
合計		12	100.0%

問7 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	8	66.7%
2	受験しない	4	33.3%
合計		12	100.0%

以下は問7で、「1. 受験したい」を選択した7人のみに回答を求めた。

問8 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験をしたい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※回答者=8人

選択項目		回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	7	100.0%
2	養成する人材像に共感できるから	4	57.1%
3	希望するキャリアに近づけるから	3	42.9%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	3	42.9%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	4	57.1%
6	博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから	2	28.6%
7	その他	0	0.0%

問9 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で行われる、英語による授業への印象について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目		回答数	構成比
1	問題ない	3	37.5%
2	心配はあるが、問題ないと思う	5	62.5%
3	受講は難しい	0	0.0%
4	その他	0	0.0%
合計		8	100.0%

問10 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で、特にどの分野の研究内容に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	5	62.5%
2	研究論理や研究方法など、研究の推進に関する分野	0	0.0%
3	データサイエンスに関する分野	2	25.0%
4	グローバルな保健医療課題に関する分野	1	12.5%
5	その他	0	0.0%
	合計	8	100.0%

問11 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	6	75.0%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	2	25.0%
	合計	8	100.0%

以下は、問7で、「2. 受験しない」を選択した4人のみに回答を求めた。

問12 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※回答者=2人

	選択項目	回答数	構成比
1	現在の仕事やプライベートと学業との両立が難しいから	2	100.0%
2	他の大学院・研究科への進学を希望しているから	0	0.0%
3	更に詳細を知った上で検討したいから	0	0.0%
4	就職を希望しているから	0	0.0%
5	通学が不便、不便そうだから	0	0.0%
6	その他	2	100.0%

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」

設置構想に係る入学意向アンケート調査報告書

（対象：神奈川県および神奈川県立保健福祉大学主催のセミナー参加の方）

令和2年1月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	7

添付資料

「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程
(仮称) 設置構想に係る入学意向アンケート調査」 用紙

1 調査の概要

- ◆調査の目的 : 本調査は、神奈川県立保健福祉大学の大学院ヘルスイノベーション研究科が令和3年4月設置に向けて構想中の「ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」の学生確保の見通しを、アンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間 : 令和2年1月

- ◆調査対象 : 神奈川県および神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科が県内の企業や団体の従事者を対象として企画・実施した、「未病産業研究会の公衆衛生学講座」および「再生医療特論オープンセミナー」の受講生を調査対象とした。なお、開催日は以下に記載した通り別日であるが、ともに個人名での予約を行っており、参加者に重複はない。

- ◆調査方法 : 対象である講座受講生にアンケート用紙を配布の上、回答後にその場で回収した。
なお、実施日および実施人数については以下の通り。
 - ・未病産業研究会の公衆衛生学講座 : 令和2年1月17日
 - ・再生医療特論オープンセミナー : 令和2年1月20日

- ◆調査内容 : アンケート項目は全12問で、すべて選択肢式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
 - 『回答者の基本情報(性別・居住地・職業・最終学歴)について』
 - 『回答者における神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)への評価、受験意欲について』

- ◆回収件数 : 55件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～6 ページは、アンケートで回答を得た 55 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	男性	38	69.1%
2	女性	17	30.9%
3	どちらでもない・答えたくない	0	0.0%
	計	55	100.0%

問2 あなたが住んでいる都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	神奈川県	26	47.3%
2	東京都	21	38.2%
3	千葉県	5	9.1%
4	埼玉県	1	1.8%
5	その他	2	3.6%
	計	55	100.0%

問3 あなたの年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	20代	5	9.1%
2	30代	13	23.6%
3	40代	23	41.8%
4	50代	9	16.4%
5	60代	4	7.3%
6	70代～	1	1.8%
	計	55	100.0%

問4 あなたの職業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数の職業を兼任する方もいるため、複数回答とした。複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 55 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	会社員(一般社員・管理職)	34	61.8%
2	会社経営者・役員	7	12.7%
3	公務員・教職員・団体職員	10	18.2%
4	医師・獣医師	1	1.8%
5	薬剤師	2	3.6%
6	看護師・保健師・助産師	1	1.8%
7	その他の医療職	0	0.0%
8	学生	1	1.8%
9	その他	2	3.6%
	無回答	1	1.8%

問5 あなたの最終学歴(在学中の方は見込み含む)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	高校卒	0	0.0%
2	専門学校卒	3	5.5%
3	短期大学卒	2	3.6%
4	高専卒	1	1.8%
5	大学卒	26	47.3%
6	大学院(修士)卒	11	20.0%
7	大学院(博士)卒	12	21.8%
8	その他	0	0.0%
	計	55	100.0%

問6 あなたの直近3年間の英語のスコアを教えてください。(当てはまるものすべてに○をし、スコアを記入)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 55 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	TOEFL(iBT)	4	7.3%
2	TOEIC(Listening&Reading Test)	15	27.3%

3	その他	1	1.8%
4	特になし	32	58.2%
	無回答	5	9.1%

以下の問7は、問5の最終学歴で「6. 大学院(修士)卒」、「7. 大学院(博士)卒」を回答した23人に限定した集計値とする。

問7 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	1	4.3%
2	将来、必要を感じた場合には受験したい	4	17.4%
3	受験しない	18	78.3%
	計	23	100.0%

以下の問8、問9、問10、問11は、以下の①②に該当する5人のみの集計結果とする。
 ①問5の最終学歴で「6. 大学院(修士)卒」、「7. 大学院(博士)卒」を回答
 ②問7で「1. 受験したい」、「将来、必要を感じた場合には受験したい」を回答

問8 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したい理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- ※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。
- ※ 構成比は、回答者5人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	3	60.0%
2	養成する人材像に共感できるから	2	40.0%
3	希望するキャリアに近づけるから	1	20.0%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	0	0.0%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	0	0.0%
6	博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから	0	0.0%
7	その他	0	0.0%

問9 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で行われる、英語による授業への印象について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	問題ない	2	40.0%
2	心配はあるが、問題ないと思う	0	0.0%
3	受講は難しい	2	40.0%
4	その他	1	20.0%
	計	5	100.0%

問10 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻修士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	2	40.0%
2	研究論理や研究方法など、研究の推進に関する分野	0	0.0%
3	データサイエンスに関する分野	1	20.0%
4	グローバルな保健医療課題に関する分野	1	20.0%
5	その他	0	0.0%
	無回答	1	20.0%
	計	5	100.0%

問11 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	3	60.0%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	1	20.0%
	無回答	1	20.0%
	計	5	100.0%

以下の問12は、①②に該当する18人のみの集計結果とする。
 ①問5の最終学歴で「6. 大学院(修士)卒」、「7. 大学院(博士)卒」を回答
 ②問7で「3. 受験しない」を回答

問 12 あなたが神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を「受験しない」とされた理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答 18 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	大学院に通う時間的余裕がないから	9	50.0%
2	大学院に通う金銭的余裕がないから	2	11.1%
3	他の大学院・研究科の博士課程への進学を希望しているから	2	11.1%
4	まずは修士課程に進学したいから	0	0.0%
5	更に詳細を知った上で検討したいから	4	22.2%
6	通学が不便そうだから	2	11.1%
7	その他	5	27.8%

3 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

● 回答者の 6 割が男性、4 割が女性。

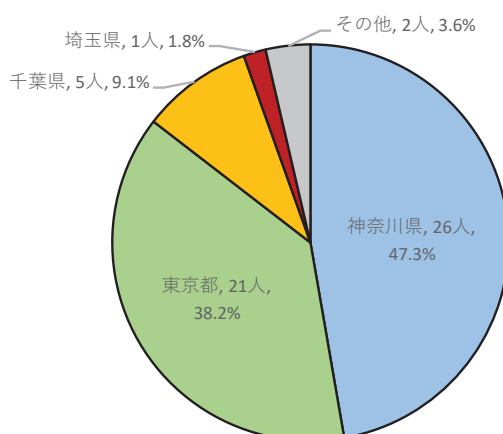
本調査は神奈川県および神奈川県立保健福祉大学が主に神奈川県内の企業や団体の従事者を対象として企画・実施した「未病産業研究会の公衆衛生学講座」および「再生医療特論オープンセミナー」の受講生を対象に実施し、55 人より回答を得た。

回答者 55 人の居住地は、「神奈川県」の 26 人 (47.3%) と「東京都」の 21 人 (38.2%) への回答が目立ち、その他では「千葉県」の 5 人 (9.1%)、「埼玉県」の 1 人 (1.8%)、「その他」の 2 人 (3.6%) で構成されている。

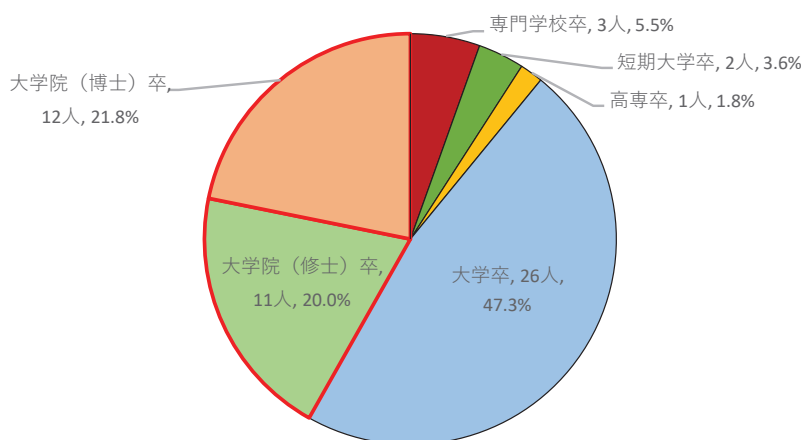
回答者 55 人のうち、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への受験資格に合致するのは、最終学歴に関する質問で 55 人のうち 20.0%にあたる 11 人が回答した「大学院（修士）卒」と、21.8%にあたる 12 人が回答した「大学院（博士）卒」、合計で 23 人となっている。

この 23 人に、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への受験意欲について質問したところ、「受験したい」に 1 人 (4.3%)、「将来、必要を感じた場合には受験したい」に 4 人 (17.4%) が回答し、合計で 5 人より、受験意欲を示す回答が得られた。

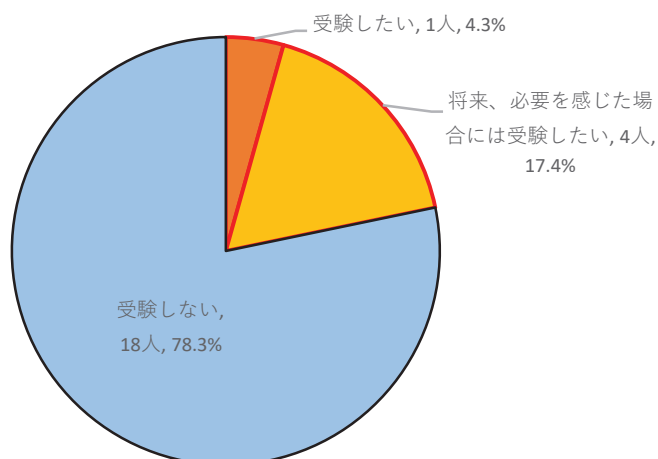
グラフ 回答者の居住地（「問 2」結果より）



グラフ 回答者の最終学歴（「問5」結果より）



グラフ 回答者の性別（「問1」結果より）



● 回答者の5割が神奈川県に居住、約3割が東京都に居住。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程（仮称）を受験したいと回答した5人（「受験したい」1人、「将来、必要を感じた場合には受験したい」4人の合計）のうち、3人が「合格した場合、入学したい」と回答し、入学意欲を示す回答が得られた。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程（仮称）への受験意欲と入学意欲の関係を表にしたところ、「受験したい」と回答した1人については、「合格した場合、入学したい」と回答した。「将来、必要を感じた時に受験したい」と回答した4人については、2人が「合格したい場合、入学したい」と回答、1人が「併願大学の結果によっては入学したい」、1人が無回答という結果であった。

なお、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程では、英語による授業が開講されることから、入学者に対しては一定の英語スキルが求められる。そこで、本アンケート

トでは、問 6 にて英語スコア (TOEIC(Listening&Reading Test)および TOEFL(iBT)など)を質問した。下の表 2 が示す通り、受験意欲を示した 5 人のうち、2 人が英語スコアについて回答し、いずれも平均値以上のスコアを示した。残りの 3 人は、「特になし」と回答している。

表 1 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への受験・入学意欲（「問 7」「問 11」結果より）

	合格した場合、入学したい		合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
受験したい	1 人	33.3%	0 人	0.0%
将来、必要を感じた時に受験したい	2 人	66.7%	1 人	100.0%
合計	3 人	100.0%	1 人	100.0%

表 2 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への受験・入学意欲と回答者の英語スコア（「問 4」「問 6」「問 7」「問 11」結果より）

職種	受験意欲	英語スコア	合格した場合の入学意欲
公務員・教職員・団体職員	受験したい	特になし	入学したい
公務員・教職員・団体職員	将来、必要を感じた場合には受験したい	TOEFL:86 TOEIC:935	入学したい
会社員(一般社員・管理職)	将来、必要を感じた場合には受験したい	特になし	入学したい
無回答	将来、必要を感じた場合には受験したい	特になし	併願大学の結果によっては入学したい
会社員(一般社員・管理職)	将来、必要を感じた場合には受験したい	TOEIC:810	無回答

*グリーン：問 7 で「将来、必要を感じた時に受験したい」と回答し、問 6 で英語スコアを回答、かつ、問 11 で入学意欲を示した者

以上、回答者 55 人のうち、1 人より神奈川県立保健福祉大学が令和年 3 年 4 月に構想中である「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」への、将来の入学意欲について示す回答が得られた。

添付資料

「神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)
設置構想に係る入学意向アンケート調査」 用紙

公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程

(仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期:2021(令和3)年
- 開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限:3年
- 入学定員:2人
- 取得学位:博士(公衆衛生学) ※英訳 Doctor of Philosophy
- 養成する人材像:

- ①高度研究人材…教育研究機関や企業内研究所などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる技術や社会システムの革新に関する高度な研究・開発を自ら行い、また牽引することができるリーダー人材
- ②高度マネジメントリーダー…企業や非営利法人などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる革新的な技術やサービスを具体的に産業化・組織化し、グローバルに展開するために組織を牽引できるリーダー人材
- ③高度ヘルスケアプロバイダ…病院をはじめとした保健医療サービスの提供組織などにおいて、地域のニーズに則したサービスを高度かつ効果的・効率的に提供するために組織を牽引することができるリーダー人材
- ④高度ポリシーメーカー…国際機関や行政機関などにおいて、保健医療分野の課題解決に取り組む様々な組織・人材などを繋ぎ、保健医療課題の解決に資するエコシステムを構築することができるリーダー人材

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科博士課程では、公衆衛生学等の専門科目に加えて、次世代・次々世代社会をみすえたイノベーションを牽引する人材を育成するため、学生の興味関心に応じて、以下の内容を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	研究倫理や研究法、ヘルスイノベーション特論などの科目を学び、本専攻を修める全ての学生が共通して身につけるべき知識・教養・態度を習得する。
専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)を学ぶ。 さらに、データサイエンスやグローバルな保健医療課題に関してイノベーションの技法を用いて自ら課題解決に取り組むための知識・技法を学ぶ。
特別研究科目	学生の興味関心に応じた保健医療分野の具体的な課題を自ら設定し、博士論文を作成する。

【研究科の特色】

- 最先端技術等も含めた様々な専門領域の知恵を結集して保健医療課題にアプローチ。(トランスディシプリナリー教育)
- 主に夜間や土曜で授業を実施し、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 経験豊富な教員により、授業は原則全て英語で開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関と連携。

本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- 製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融機関、IT関連企業などの従事者
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

修了後の進路

受験資格

主に、次のいずれかに該当する方に受験資格があります。

- 修士の学位や専門職学位を有する者又は受験する年度末に当該学位を取得見込の者
- 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- 本学大学院において、出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、受験する年度末までに24歳に達する者

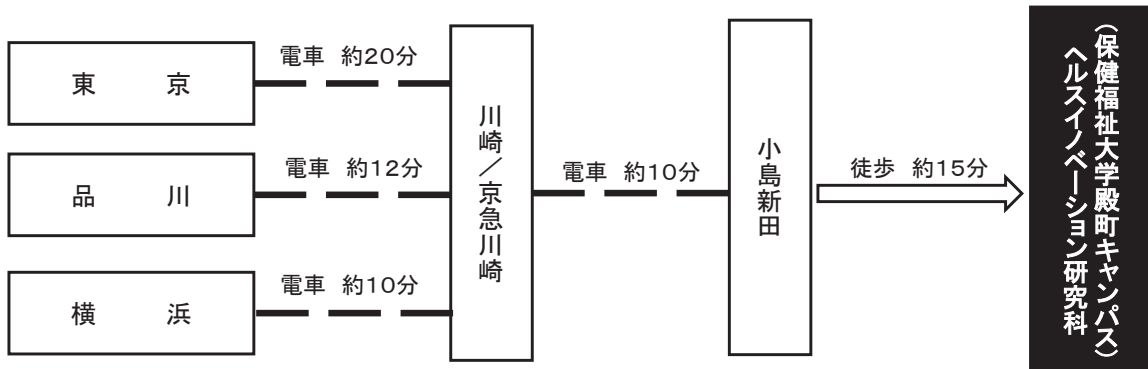
初年度学費（他の大学院含む）

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	その他	初年度学費
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科博士課程（仮称） 神奈川県川崎市	県内居住者 282,000 県外居住者 564,000	535,800	—	県内居住者 817,800 県外居住者 1,099,800
国立大学大学院	282,000	520,800	—	802,800
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 東京都板橋区	300,000	780,000	200,000	1,280,000
慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 神奈川県藤沢市	0	660,000	70,600	730,600
聖路加国際大学大 公衆衛生大学院 東京都中央区	400,000	1,200,000	300,000	1,900,000

※ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）の学費は予定です。
 ※他の大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます（2019年12月時点）。
 ※その他、諸会費が必要な場合があります。

アクセス

国際戦略特区（※）に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。（住所：川崎市川崎区殿町3丁目地区）



（※）ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

左記・上記の概要をご覧の上、質問にお答えください。

問7 あなたは神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1. 受験したい
 - 2. 将来、必要を感じた場合には受験したい
 - 3. 受験しない
- 1・2の方は **問8** **問9** **問10** **問11** にお答えください。
- 3の方は **問12** にお答えください。

4ページにも質問がございます。

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」

入学意向に関する WEB アンケート調査報告書

（対象：医療従事者）

令和2年1月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	8

添付資料

WEB アンケートの質問画面

1 調査の概要

◆調査の目的：本調査は、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科が令和3年4月設置に向けて構想中の「ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

◆調査期間：令和2年1月

◆調査対象：インターネット調査会社（株式会社クロス・マーケティング）協力のもと、以下の対象者に対して、アンケートを実施した。

調査会社に登録するモニター（全国で63万人）のうち、

- ・最終学歴：大学院卒（修士課程および博士課程）
- ・居住地：神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県
- ・職業：医療従事者（医師・獣医師、薬剤師、看護師・保健師・助産師・その他）

以上の条件に適合した143人のうち、
配信後期間内（1週間）に84人が回答し、その中で、

- ・神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程を受験したいと回答した14人が入学意欲等に関する本質問の回答対象となっている。

◆調査方法：インターネットを利用したアンケートで、回答者はパソコンおよびタブレットなどを使用して回答。

◆調査内容：アンケート項目はスクリーニング9問、対象者限定の7問、全16問で、全て選択肢式とした。

主な質問内容は、以下の通りである。

『回答者の基本情報（性別・居住地・職業）について』

『回答者における神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への入学意欲について』

◆調査件数：84件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～7 ページは、アンケートで回答を得た 84 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

SC1 あなたの性別をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	男性	66	78.6%
2	女性	17	20.2%
3	どちらでもない・答えたくない	1	1.2%
	計	84	100.0%

SC2 あなたの年齢をお答えください。

※ 回答結果を以下の区分で集計した

番号	選択項目	回答数	構成比
1	～29 歳	0	0.0%
2	30～39 歳	10	11.9%
3	40～49 歳	24	28.6%
4	50～59 歳	28	33.3%
5	60～69 歳	20	23.8%
6	70 歳以上	2	2.4%
	計	84	100.0%

SC3 あなたの職業をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	会社勤務(一般社員)	0	0.0%
2	会社勤務(管理職)	0	0.0%
3	会社経営者・役員	0	0.0%
4	公務員・教職員・非営利団体職員	0	0.0%
5	医師・獣医師	63	75.0%
6	薬剤師	13	15.5%
7	看護師・保健師・助産師	1	1.2%

8	その他の医療職	7	8.3%
9	医療機関の事務職	0	0.0%
10	派遣社員・契約社員	0	0.0%
11	自営業(商工サービス)	0	0.0%
12	SOHO	0	0.0%
13	農林漁業	0	0.0%
14	専門職(弁護士・税理士等)	0	0.0%
15	パート・アルバイト	0	0.0%
16	専業主婦	0	0.0%
17	大学生・大学院生	0	0.0%
18	無職	0	0.0%
19	その他の職業	0	0.0%
	計	84	100.0%

SC4 あなたの最終学歴をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	中学卒	0	0.0%
2	高校卒	0	0.0%
3	専門学校卒	0	0.0%
4	短大卒	0	0.0%
5	高専卒	0	0.0%
6	大学卒	0	0.0%
7	大学院(修士課程・博士前期課程)卒	19	22.6%
8	大学院(博士課程・博士後期課程)卒	65	77.4%
9	上記以外	0	0.0%
	計	84	100.0%

SC5 あなたのお住まいをお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
	東京都	44	52.4%
	神奈川県	15	17.9%
	埼玉県	10	11.9%
	千葉県	15	17.9%
	計	84	100.0%

SC6 あなたの婚姻状況をお知らせください。

※ 無関係な質問のため、集計結果は省略。

SC7 あなたはお子様がいっぱいますか。

※ 無関係な質問のため、集計結果は省略。

SC8 あなた、またはご家族の方に下記のような所にお勤めの方はいらっしゃいますか。

※ 無関係な質問のため、集計結果は省略。

SC9 あなたは2021年4月より開設する、神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	2	2.4%
2	将来、必要を感じた時に受験したい	12	14.3%
3	受験しない	70	83.3%
	計	84	100.0%

以下の Q1 以降は、SC9で「1. 受験したい」「2. 将来、必要を感じた時に受験したい」を選択した 14 人が回答対象である。

Q1 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験をしたい理由をお答えください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 14 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	5	35.7%
2	養成する人材像に共感できるから	2	14.3%
3	希望するキャリアに近づけるから	2	14.3%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	3	21.4%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	3	21.4%
6	博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから	2	14.3%
7	その他	1	7.1%

Q2 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で行われる、英語による授業への印象について教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	問題ない	3	21.4%
2	心配はあるが、問題ないと思う	6	42.9%
3	受講は難しい	4	28.6%
4	その他	1	7.1%
	計	14	100.0%

Q3 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	2	14.3%
2	研究倫理や研究法など、研究の推進に関する分野	2	14.3%
3	データサイエンスに関する分野	4	28.6%
4	グローバルな保健医療課題に関する分野	6	42.9%
5	その他	0	0.0%
	計	14	100.0%

Q4_1 あなたの直近3年間のTOEIC(Listening & Reading Test)スコアを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	10~395	0	0.0%
2	400~495	0	0.0%
3	500~595	0	0.0%
4	600~695	1	7.1%
5	700~795	2	14.3%
6	800~895	1	7.1%
7	900~990	1	7.1%
8	覚えていない	1	7.1%
9	受験したことがない	8	57.1%
	計	14	100.0%

Q4_2 あなたの直近3年間のTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	0～49	0	0.0%
2	50～55	0	0.0%
3	56～60	0	0.0%
4	61～65	0	0.0%
5	66～70	0	0.0%
6	71～75	0	0.0%
7	76～80	1	7.1%
8	81～85	0	0.0%
9	86～90	0	0.0%
10	91～95	0	0.0%
11	96～100	0	0.0%
12	101～120	0	0.0%
13	覚えていない	0	0.0%
14	受験したことがない	13	92.9%
	計	14	100.0%

Q5 あなたが希望する通学スタイルについて教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	学業に専念(仕事を離職)	0	0.0%
2	学業に専念(仕事を休職)	0	0.0%
3	働きながら学習(仕事の比重は減らす)	4	28.6%
4	働きながら学習(仕事の比重を変えず)	9	64.3%
5	その他	1	7.1%
	計	14	100.0%

Q6 あなたが特に関心のある分野について、教えてください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 14 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	疫学	3	21.4%
2	生物統計学	4	28.6%
3	社会行動科学	2	14.3%
4	環境保健学	1	7.1%
5	保健医療管理学	4	28.6%
6	ビジネス戦略	2	14.3%
7	ヘルスケアテクノロジー	3	21.4%
8	データサイエンス	4	28.6%
9	防災	1	7.1%
10	都市計画	0	0.0%
11	母子保健	1	7.1%
12	レギュラトリーサイエンス	0	0.0%
13	国際保健	1	7.1%
14	医療政策	3	21.4%
15	栄養・食品	2	14.3%
16	プレゼンテーション	3	21.4%
17	リーダーシップ論	0	0.0%
18	バイオデザイン	0	0.0%
19	その他	1	7.1%

Q7 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	9	64.3%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	5	35.7%
	計	14	100.0%

3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

● 全回答者のうち、10%にあたる800人が受験意欲を示す。

本調査はインターネットを利用し、南関東エリア（神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県）に居住する社会人を対象にアンケートを実施した。対象者の条件として①居住地が南関東エリア、②最終学歴が大学院（修士課程および博士課程）卒、③職業が医療従事者、以上3点に合致した143人に対しアンケート実施の依頼を配信し、回答期間内（1週間）に84人より回答があった。

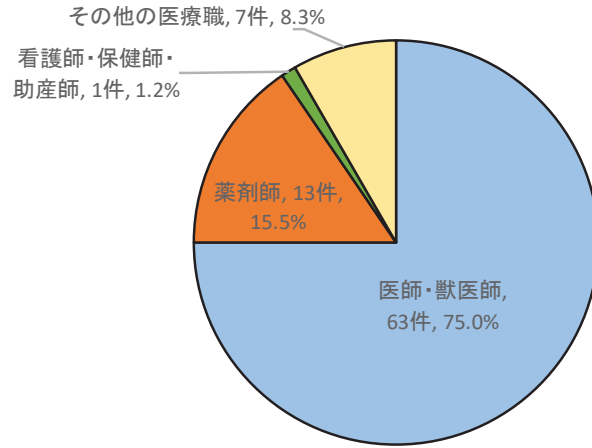
なお、回答者84人を職業別で見ると、「医師・獣医師」がもっとも多く、75.0%にあたる63人となっている。その他の職業では、「薬剤師」の13件（15.5%）、「看護師・保健師・助産師」の1件（1.2%）、「その他の医療職」の7件（8.3%）で構成されている。

この医療従事者である84人に、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への受験意欲を質問したところ、2.4%にあたる2人が「受験したい」、14.3%にあたる12人が「将来、必要を感じた時に受験したい」と回答し、回答者の16.7%から受験意欲を示す回答が得られた。

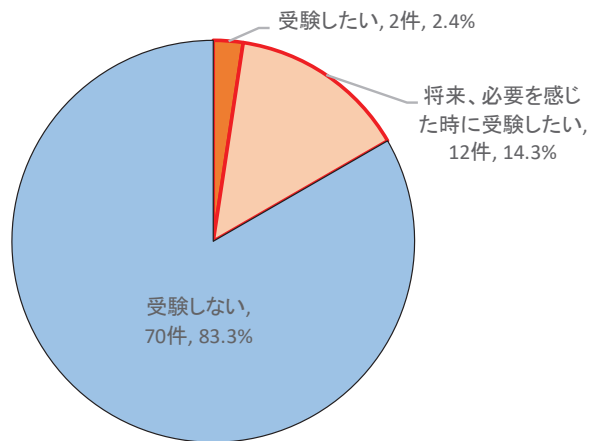
表 本調査の流れと回答者数について

条件	人数
登録者数	63万人
↓	
調査会社における、以下の条件に合致する登録者数(配信数) ①居住地(千葉、埼玉、東京、神奈川) ②最終学歴が大学院の修士課程もしくは博士課程卒 ③医療の従事者	143人
↓	
SC(SC1~9)への回答者数	84人
↓	
SC9で、構想中の大学院博士課程に対して受験を示す回答 ①受験したい ②将来、必要を感じた時に受験したい	14人

グラフ 回答者の職業（「SC3」結果より）



グラフ 構想中の大学院博士課程への受験意欲（「SC9」結果より）



● 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に、511人が「入学したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程に受験意欲を示した14人（「受験したい」2人と「将来、必要を感じた時に受験したい」12人の合計）のうち、9人が「合格した場合、入学したい」と回答し、入学意欲を示す回答が得られた。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への受験意欲と入学意欲の関性を表にしたところ、「受験したい」と回答した2人のうち、1人が「合格した場合、入学したい」と回答した。また、「将来、必要を感じた時に受験したい」と回答した12人のうち、8人が「合格したい場合、入学したい」と回答しており、それぞれ強い入学意欲を示す回答を一定数得られた。

なお、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程では、英語による授業が開講されることから、入学者に対しては一定の英語スキルが求められる。そこで、本アンケートでは、回答者に対して英語スコア（TOEIC(Listening&Reading Test)およびTOEFL(iBT))を質問した。下の表2が示す通り、受験意欲を示した14人のうち、6人が英語スコアについて回答しており、いずれも平均値以上のスコアを示した。残りの8人については、「受験したことがない」もしくは「覚えていない」と回答している。

表1 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への受験×入学意欲（「SC9」「Q10」結果より）

	合格した場合、入学したい		合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	
	回答数	構成比	回答数	構成比
受験したい	1人	11.1%	1人	20.0%
将来、必要を感じた時に受験したい	8人	88.9%	4人	80.0%
合計	9人	100.0%	5人	100.0%

表2 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への受験×入学意欲と回答者の英語スコア（「SC3」「SC9」「Q4」「Q10」結果より）

職種	受験意欲	英語スコア	合格した場合の入学意欲
医師・獣医師	受験したい	受験したことがない	入学したい
医師・獣医師	受験したい	TOEIC:700~795	併願大学の結果によっては入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:900~990	入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	覚えていない	入学したい

医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
薬剤師	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:600～695	入学したい
薬剤師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
その他の医療職	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
薬剤師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:800～895 TOEFL:76～80	併願大学の結果によっては入学したい
その他の医療職	将来、必要を感じた時に受験したい	TOEIC:700～795	併願大学の結果によっては入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	併願大学の結果によっては入学したい
医師・獣医師	将来、必要を感じた時に受験したい	受験したことがない	併願大学の結果によっては入学したい

神奈川県立保健福祉大学が令和年3年4月に構想中である「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」では、求める人材の一例として医療従事者を想定しているが、医療従事者を対象とした本アンケートの結果より、一定の入学意欲を示す回答を得られたため、入学の可能性について十分に見込めると考えられる。

添付資料

WEB アンケートの質問画面

対象外条件 SC2_1 < 20 または SC2_1 > 79 (即時回答終了)

対象外条件 ((SC3 = 「1. 会社勤務(一般社員)」 ~ 「4. 公務員・教職員・非営利団体職員」) または (SC3 = 「9. 医療機関の事務職」 ~ 「19. その他の職業」)) (即時回答終了)

対象外条件 (SC4 = 「1. 中学卒」 ~ 「6. 大学卒」) または SC4 = 「9. 上記以外」 (即時回答終了)

対象外条件 SC5 ≠ 「11. 埼玉県」 ~ 「14. 神奈川県」 (即時回答終了)

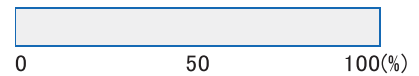
対象外条件 SC9 = 「3. 受験しない」 (即時回答終了)

対象外条件 SC8 = 「14. 出版・印刷」 ~ 「16. 市場調査」 (即時回答終了)

アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC1

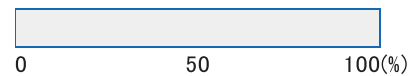
必須設定 回答必須

SC1

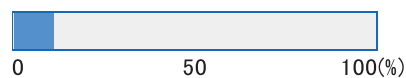
あなたの性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 どちらでもない・答えたくない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC2

対象外条件 SC2_1 < 20 または SC2_1 > 79 (即時回答終了)

- カテゴリ 1.歳

必須設定 回答必須

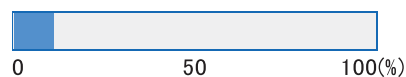
回答制御 回答範囲「0~99」に該当しない場合はアラートを表示

SC2

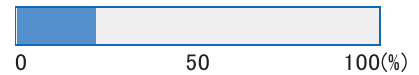
あなたの年齢をお答えください。

歳

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC3

必須設定

回答必須

対象外条件

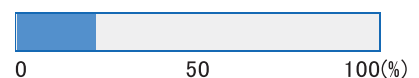
((SC3 = 「1. 会社勤務(一般社員)」～「4. 公務員・教職員・非営利団体職員」) または (SC3 = 「9. 医療機関の事務職」～「19. その他の職業」)) (即時回答終了)

SC3

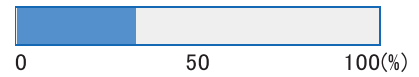
あなたの職業をお答えください。

- 1 会社勤務(一般社員)
- 2 会社勤務(管理職)
- 3 会社経営者・役員
- 4 公務員・教職員・非営利団体職員
- 5 医師・獣医師
- 6 薬剤師
- 7 看護師・保健師・助産師
- 8 その他の医療職
- 9 医療機関の事務職
- 10 派遣社員・契約社員
- 11 自営業(商工サービス)
- 12 SOHO
- 13 農林漁業
- 14 専門職(弁護士・税理士等)
- 15 パート・アルバイト
- 16 専業主婦
- 17 大学生・大学院生
- 18 無職
- 19 その他の職業

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC4

必須設定 回答必須

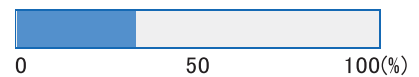
対象外条件 (SC4 = 「1. 中学卒」～「6. 大学卒」) または SC4 = 「9. 上記以外」 (即時回答終了)

SC4

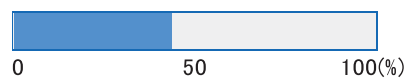
あなたの最終学歴をお答えください。

- 1 中学卒
- 2 高校卒
- 3 専門学校卒
- 4 短大卒
- 5 高専卒
- 6 大学卒
- 7 大学院(修士課程・博士前期課程)卒
- 8 大学院(博士課程・博士後期課程)卒
- 9 上記以外

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC5

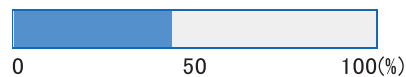
必須設定 回答必須

対象外条件 SC5 ≠ 「11. 埼玉県」～「14. 神奈川県」(即時回答終了)

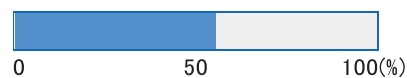
SC5

あなたのお住まいをお答えください。

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC6

必須設定

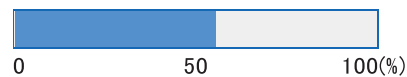
回答必須

SC6

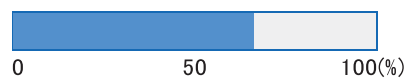
あなたの婚姻状況をお知らせください。

- 1 未婚
- 2 既婚(離別・死別含む)

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC7

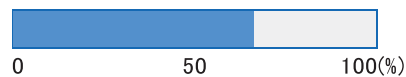
必須設定 回答必須

SC7

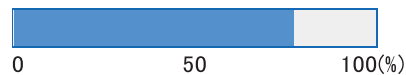
あなたはお子様がいらっしゃいますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC8

必須設定 回答必須

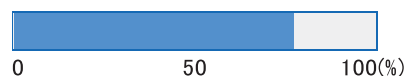
対象外条件 SC8 = 「14. 出版・印刷」～「16. 市場調査」(即時回答終了)

SC8

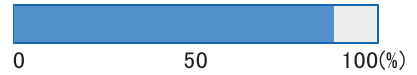
あなた、またはご家族の方に下記のような所にお勤めの方はいらっしゃいますか。(いくつでも)

- | | |
|---|--|
| 1 <input type="checkbox"/> 土木・建設・不動産・住宅・建物サービス | 20 <input type="checkbox"/> 運輸・倉庫・物流 |
| 2 <input type="checkbox"/> 飲料・食品・食品加工 | 21 <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道 |
| 3 <input type="checkbox"/> 化粧品・トイレットリー製品・ヘアケア製品 | 22 <input type="checkbox"/> 通信 |
| 4 <input type="checkbox"/> 繊維・衣料 | 23 <input type="checkbox"/> ソフトウェア・情報処理 |
| 5 <input type="checkbox"/> 紙・パルプ・木材 | 24 <input type="checkbox"/> その他情報サービス業 |
| 6 <input type="checkbox"/> 日用雑貨・文具・事務用品 | 25 <input type="checkbox"/> 銀行・信託・信金・信組 |
| 7 <input type="checkbox"/> 医療品・健康食品・薬品・化学・石油化学 | 26 <input type="checkbox"/> 信販・消費者金融 |
| 8 <input type="checkbox"/> 鉄鋼・非鉄金属・金属・硝子・窯業・土石 | 27 <input type="checkbox"/> 証券・商品先物取引 |
| 9 <input type="checkbox"/> 電器・機械・輸送用機器 | 28 <input type="checkbox"/> 生命保険・損害保険 |
| 10 <input type="checkbox"/> 半導体・精密機器・コンピューター・通信機器 | 29 <input type="checkbox"/> その他金融業 |
| 11 <input type="checkbox"/> 家電製品 | 30 <input type="checkbox"/> 外食・飲食サービス業 |
| 12 <input type="checkbox"/> 自動車 | 31 <input type="checkbox"/> 医療・福祉 |
| 13 <input type="checkbox"/> その他製造業 | 32 <input type="checkbox"/> 理容・美容関連 |
| 14 <input type="checkbox"/> 出版・印刷 | 33 <input type="checkbox"/> その他サービス業 |
| 15 <input type="checkbox"/> 新聞・放送・マスコミ・広告 | 34 <input type="checkbox"/> 教育 |
| 16 <input type="checkbox"/> 市場調査 | 35 <input type="checkbox"/> 行政サービス |
| 17 <input type="checkbox"/> 商社・卸売 | 36 <input type="checkbox"/> 農林・水産業 |
| 18 <input type="checkbox"/> 百貨店・スーパー・コンビニエンスストア | 37 <input type="checkbox"/> その他 |
| 19 <input type="checkbox"/> その他流通・小売業 | |

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

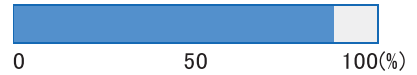


SC9 **必須設定** 回答必須
対象外条件 SC9 = 「3. 受験しない」(即時回答終了)

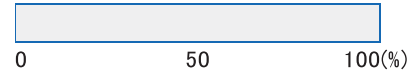
SC9
 あなたは2021年4月より開設する、神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。
 ※画像をクリックして、ご確認をお願いします。

- 1 受験したい
- 2 将来、必要を感じた時に受験したい
- 3 受験しない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



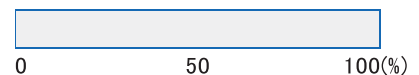
Q1

必須設定 回答必須

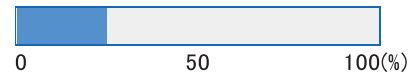
Q1
 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験をしたい理由をお答えください。(いくつでも)

- 1 教育内容に興味・関心があるから
- 2 養成する人材像に共感できるから
- 3 希望するキャリアに近づけるから
- 4 少人数制の教育でじっくり学べるから
- 5 神奈川県や近隣企業と連携しているから
- 6 博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから
- 7 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

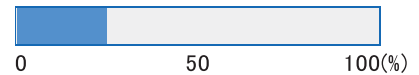


Q3 **必須設定** 回答必須

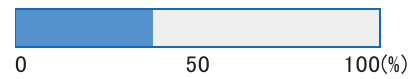
Q3
 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。

- 1 公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野
- 2 研究倫理や研究法など、研究の推進に関する分野
- 3 データサイエンスに関する分野
- 4 グローバルな保健医療課題に関する分野
- 5 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q4_1

必須設定

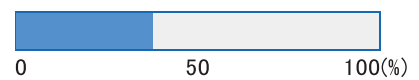
回答必須

Q4_1

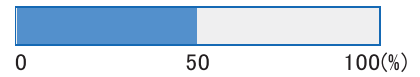
あなたの直近3年間のTOEIC(Listening & Reading Test)スコアを教えてください。

- 1 10～395
- 2 400～495
- 3 500～595
- 4 600～695
- 5 700～795
- 6 800～895
- 7 900～990
- 8 覚えていない
- 9 受験したことがない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q4_2

必須設定

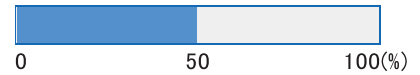
回答必須

Q4_2

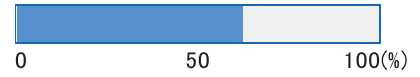
あなたの直近3年間のTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。

- 1 0～49
- 2 50～55
- 3 56～60
- 4 61～65
- 5 66～70
- 6 71～75
- 7 76～80
- 8 81～85
- 9 86～90
- 10 91～95
- 11 96～100
- 12 101～120
- 13 覚えていない
- 14 受験したことがない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q5

必須設定

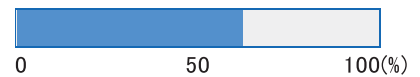
回答必須

Q5

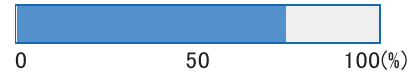
あなたが希望する通学スタイルについて教えてください。

- 1 学業に専念(仕事を離職)
- 2 学業に専念(仕事を休職)
- 3 働きながら学習(仕事の比重は減らす)
- 4 働きながら学習(仕事の比重を変えず)
- 5 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q6 必須設定 回答必須

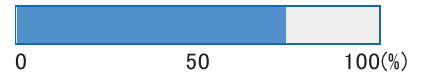
Q6
あなたが特に関心のある分野について、教えてください。(いくつでも)

- 1 疫学
- 2 生物統計学
- 3 社会行動科学
- 4 環境保健学
- 5 保健医療管理学
- 6 ビジネス戦略
- 7 ヘルスケアテクノロジー
- 8 データサイエンス
- 9 防災
- 10 都市計画
- 11 母子保健
- 12 レギュラトリーサイエンス
- 13 国際保健
- 14 医療政策
- 15 栄養・食品
- 16 プレゼンテーション
- 17 リーダーシップ論

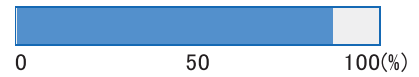
18 バイオデザイン

19 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q7

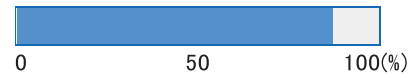
必須設定 回答必須

Q7

あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

- 1 合格した場合、入学したい
- 2 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

送信



神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」

入学意向に関する WEB アンケート調査報告書

（令和2年8月実施分）

令和2年8月

株式会社高等教育総合研究所

目次

1	調査の概要	1
2	全質問項目の集計結果	2
3	集計結果のポイント	9

添付資料

WEB アンケートの質問画面

1 調査の概要

◆調査の目的：本調査は、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科が令和3年4月設置に向けて構想中の「ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」の学生確保の見通しを、大学外の公正な第三者機関によりアンケートを用いて測ることを目的とする。

◆調査期間：令和2年8月

◆調査対象：インターネット調査会社（株式会社クロス・マーケティング）協力のもと、以下の対象者に対して、アンケートを実施した。

調査会社に登録するモニター（全国で63万人）のうち、

①職業：「会社勤務（一般社員、管理職）」「会社経営者・役員」「公務員・教職員・非営利団体職員」「専門職（弁護士・税理士等）」「大学院生」

②最終学歴：大学院卒（修士課程および博士課程） ※大学院生は修了見込み

③居住地：神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県

④神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程で設定する入学条件の語学スコア（TOEICスコア800以上 or TOEFLスコア71以上）を保有

以上の条件に合致した2万人に配信し、期間内（3日間）での回答は337人であった。

そのうち、

⑤神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程を受験したい

と回答した90人が入学意欲等に関する本質問の回答対象となっている。

◆調査方法：インターネットを利用したアンケートで、回答者はパソコンおよびタブレットなどを使用して回答。

◆調査内容：アンケート項目はスクリーニング8問、対象者限定の6問、全14問で、全て選択肢式とした。

主な質問内容は、以下の通りである。

『回答者の基本情報（性別・居住地・職業）について』

『回答者における神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への入学意欲について』

◆調査件数：337件

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～8 ページは、アンケートで回答を得た 337 人の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

SC1 あなたの性別をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	男性	255	75.7%
2	女性	79	23.4%
3	どちらでもない・答えたくない	3	0.9%
	計	337	100.0%

SC2 あなたの年齢をお答えください。

※ 回答結果を以下の区分で集計した

番号	選択項目	回答数	構成比
1	～29 歳	11	3.3%
2	30～39 歳	62	18.4%
3	40～49 歳	98	29.1%
4	50～59 歳	124	36.8%
5	60～69 歳	37	11.0%
6	70 歳以上	5	1.5%
	計	337	100.0%

SC3 あなたの職業をお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	会社勤務(一般社員)	116	34.4%
2	会社勤務(管理職)	133	39.5%
3	会社経営者・役員	34	10.1%
4	公務員・教職員・非営利団体職員	38	11.3%
5	医師・獣医師	0	0.0%
6	薬剤師	0	0.0%
7	看護師・保健師・助産師	0	0.0%

8	その他の医療職	0	0.0%
9	医療機関の事務職	0	0.0%
10	派遣社員・契約社員	0	0.0%
11	自営業(商工サービス)	0	0.0%
12	SOHO	0	0.0%
13	農林漁業	0	0.0%
14	専門職(弁護士・税理士等)	14	4.2%
15	パート・アルバイト	0	0.0%
16	専業主婦	0	0.0%
17	大学生	0	0.0%
18	大学院生	2	0.6%
19	無職	0	0.0%
20	その他の職業	0	0.0%
	計	337	100.0%

SC4 あなたのお勤め先等の主な業種についてお答えください。

※ SC3で、「3. 大学院生」を回答した2人を除く、335人に回答を求めた。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	土木・建設・不動産・住宅・建物サービス	25	7.5%
2	飲料・食品・食品加工	5	1.5%
3	化粧品・トイレタリー製品・ヘアケア製品	2	0.6%
4	繊維・衣料	2	0.6%
5	紙・パルプ・木材	1	0.3%
6	日用雑貨・文具・事務用品	1	0.3%
7	医療品・健康食品・薬品・化学・石油化学	17	5.1%
8	鉄鋼・非鉄金属・金属・硝子・窯業・土石	3	0.9%
9	電器・機械・輸送用機器	19	5.7%
10	半導体・精密機器・コンピューター・通信機器	18	5.4%
11	家電製品	3	0.9%
12	自動車	17	5.1%
13	その他製造業	14	4.2%
14	出版・印刷	4	1.2%
15	新聞・放送・マスコミ・広告	2	0.6%
16	市場調査	0	0.0%
17	商社・卸売	11	3.3%

18	百貨店・スーパー・コンビニエンスストア	1	0.3%
19	その他流通・小売業	0	0.0%
20	運輸・倉庫・物流	7	2.1%
21	電気・ガス・熱供給・水道	4	1.2%
22	通信	10	3.0%
23	ソフトウェア・情報処理	32	9.6%
24	その他情報サービス業	2	0.6%
25	銀行・信託・信金・信組	8	2.4%
26	信販・消費者金融	0	0.0%
27	証券・商品先物取引	5	1.5%
28	生命保険・損害保険	5	1.5%
29	その他金融業	5	1.5%
30	外食・飲食サービス業	0	0.0%
31	医療・福祉	8	2.4%
32	理容・美容関連	0	0.0%
33	その他サービス業	26	7.8%
34	教育	29	8.7%
35	行政サービス	18	5.4%
36	農林・水産業	0	0.0%
37	その他	31	9.3%
	計	335	100.0%

SC5 あなたの最終学歴をお答えください。

※ SC3で、「3. 大学院生」を回答した2人を除く、335人に回答を求めた。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	中学卒	0	0.0%
2	高校卒	0	0.0%
3	専門学校卒	0	0.0%
4	短大卒	0	0.0%
5	高専卒	0	0.0%
6	大学卒	0	0.0%
7	大学院(修士課程・博士前期課程)卒	262	78.2%
8	大学院(博士課程・博士後期課程)卒	73	21.8%
9	上記以外	0	0.0%
	計	335	100.0%

SC6 あなたのお住まいをお答えください。

番号	選択項目	回答数	構成比
	東京都	193	57.3%
	神奈川県	87	25.8%
	埼玉県	32	9.5%
	千葉県	25	7.4%
	計	337	100.0%

SC7_1 あなたの直近3年間のTOEIC(Listening & Reading Test)スコアを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	10～395	3	0.9%
2	400～495	2	0.6%
3	500～595	4	1.2%
4	600～695	13	3.9%
5	700～795	27	8.0%
6	800～895	155	46.0%
7	900～990	126	37.4%
8	受験したことがない	7	2.1%
	計	337	100.0%

SC7_2 あなたの直近3年間のTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	0～49	0	0.0%
2	50～55	2	0.6%
3	56～60	0	0.0%
4	61～65	0	0.0%
5	66～70	1	0.3%
6	71～75	10	3.0%
7	76～80	11	3.3%
8	81～85	20	5.9%

9	86～90	18	5.3%
10	91～95	20	5.9%
11	96～100	20	5.9%
12	101～120	33	9.8%
13	受験したことがない	202	59.9%
	計	337	100.0%

SC8 あなたは2021年4月より開設する、神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	受験したい	90	26.7%
2	受験しない	247	73.3%
	計	337	100.0%

以下の Q1 以降は、SC8で「1. 受験したい」を選択した 90 人が回答対象である。

Q1 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したい理由をお答えください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 90 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	教育内容に興味・関心があるから	63	70.0%
2	養成する人材像に共感できるから	22	24.4%
3	希望するキャリアに近づけるから	30	33.3%
4	少人数制の教育でじっくり学べるから	18	20.0%
5	神奈川県や近隣企業と連携しているから	15	16.7%
6	博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから	19	21.1%
7	その他	2	2.2%

Q2 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で行われる、英語による授業への印象について教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	問題ない	24	26.7%
2	心配はあるが、問題ないと思う	51	56.7%
3	受講は難しい	14	15.6%
4	その他	1	1.1%
	計	90	100.0%

Q3 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野	33	36.7%
2	研究倫理や研究法など、研究の推進に関する分野	25	27.8%
3	データサイエンスに関する分野	24	26.7%
4	グローバルな保健医療課題に関する分野	5	5.6%
5	その他	3	3.3%
	計	90	100.0%

Q4 あなたが希望する通学スタイルについて教えてください。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	学業に専念(仕事を離職)	9	10.0%
2	学業に専念(仕事を休職)	18	20.0%
3	働きながら学習(仕事の比重は減らす)	34	37.8%
4	働きながら学習(仕事の比重を変えず)	26	28.9%
5	その他	3	3.3%
	計	90	100.0%

Q5 あなたが特に関心のある分野について、教えてください。(複数回答)

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答者 90 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	疫学	19	21.1%
2	生物統計学	22	24.4%
3	社会行動科学	28	31.1%
4	環境保健学	22	24.4%
5	保健医療管理学	17	18.9%
6	ビジネス戦略	28	31.1%
7	ヘルスケアテクノロジー	19	21.1%
8	データサイエンス	26	28.9%
9	防災	12	13.3%
10	都市計画	14	15.6%
11	母子保健	4	4.4%
12	レギュラトリーサイエンス	6	6.7%
13	国際保健	12	13.3%
14	医療政策	15	16.7%
15	栄養・食品	14	15.6%
16	プレゼンテーション	13	14.4%
17	リーダーシップ論	15	16.7%
18	バイオデザイン	9	10.0%
19	その他	3	3.3%

Q6 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

番号	選択項目	回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	61	67.8%
2	合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	29	32.2%
	計	90	100.0%

3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0%と一致しない。

● 全回答者のうち、約 3 割にあたる 90 人が受験意欲を示す。

本調査はインターネットを利用し、南関東エリアに居住する社会人を対象にアンケートを実施した。対象者の条件として①職業（「会社勤務（一般社員、管理職）」「会社経営者・役員」「公務員・教職員・非営利団体職員」「専門職（弁護士・税理士等）」「大学院生」）、②最終学歴が大学院（修士課程および博士課程）卒および修了見込み、③居住地が南関東エリア（神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県）、④神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程の入学条件となる語学レベル以上（TOEIC スコア 800 以上 or TOEFL スコア 71 以上）を保有、以上 4 点に合致した 2 万人に対しアンケート実施の依頼を配信し、回答期間内（3 日間）に 337 人より回答があった。

なお、回答者 337 人を職業別でみると、「会社勤務（管理職）」（133 人、39.5%）と「会社勤務（一般社員）」（116 人、34.4%）への回答が多く、合計すると 73.9%の割合となっている。

337 人に対し、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）への受験意欲を質問したところ、「受験したい」に 90 人が回答し、26.7%にあたる割合から受験意欲を示す回答が得られた。

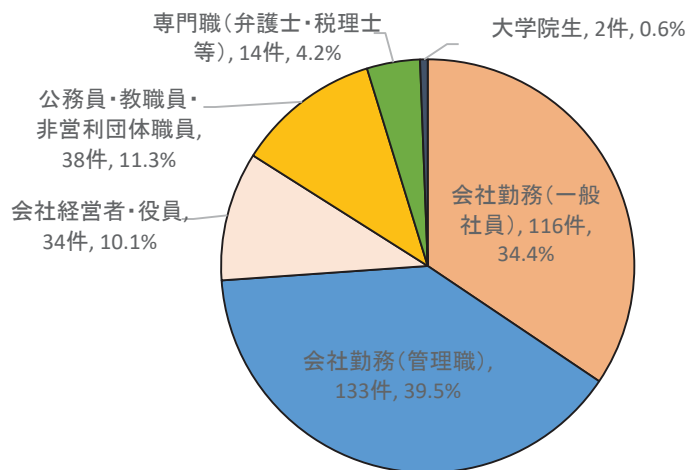
表 1 本調査の流れと回答者数について

条件	人数
登録者数	63 万人
↓	
調査会社における、以下の条件に合致する登録者数(配信数) ①職業：「会社勤務（一般社員、管理職）」「会社経営者・役員」 「公務員・教職員・非営利団体職員」「専門職（弁護士・税理士等）」「大学院生」 ②最終学歴：大学院卒（修士課程および博士課程）※修了見込み含む ③居住地：神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県 ④神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程で設定する入学条件の語学スコア（TOEIC スコア 800 以上 or TOEFL スコア 71 以上）を保有	2 万人
↓	
SC(SC1～9)への回答者数	337 人

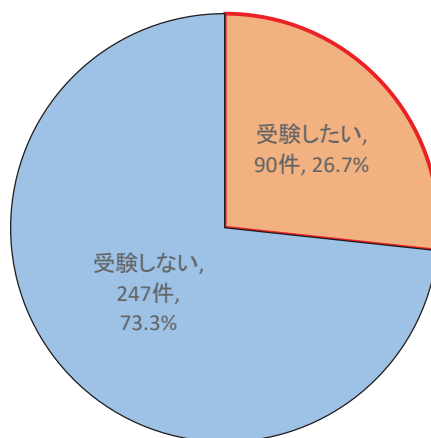
↓

SC9 で、構想中の大学院博士課程を「受験したい」と回答	90 人
------------------------------	------

グラフ 1 回答者の職業（「SC3」結果より）



グラフ 2 構想中の大学院博士課程への受験意欲（「SC9」結果より）



● 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に、511人が「入学したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程に受験意欲を示した90人のうち、61人が「合格した場合、入学したい」と回答し、入学意欲を示した。

なお、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程では、英語による授業が開講されることから、入学者に対しては一定の英語スキルが求められる。そこで、本アンケートでは、回答者に対して英語スコア（TOEIC(Listening&Reading Test)およびTOEFL(iBT))を質問した。下の表2が示す通り、受験意欲を示した14人のうち、6人が英語スコアについて回答しており、いずれも平均値以上のスコアを示した。残りの8人については、「受験したことがない」もしくは「覚えていない」と回答している。

グラフ3 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への入学意欲（「Q10」結果より）

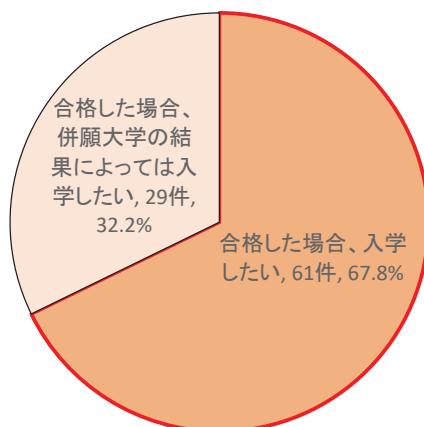


表2 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への受験×入学意欲と回答者の英語スコア（「SC3」「SC7」「SC8」「Q6」結果より）

No	職種	受験意欲	英語スコア		合格した場合の入学意欲
			TOEIC(L&R)	TOEFL(iBT)	
1	会社勤務(一般社員)	受験したい	10~395	91~95	入学したい
2	会社勤務(一般社員)	受験したい	400~495	91~95	入学したい
3	会社勤務(一般社員)	受験したい	600~695	91~95	入学したい
4	会社勤務(一般社員)	受験したい	700~795	91~95	入学したい
5	会社勤務(一般社員)	受験したい	700~795	91~95	入学したい
6	会社勤務(一般社員)	受験したい	700~795	91~95	入学したい
7	会社勤務(一般社員)	受験したい	700~795	91~95	入学したい
8	会社勤務(一般社員)	受験したい	800~895	81~85	入学したい
9	会社勤務(一般社員)	受験したい	800~895	91~95	入学したい

45	会社勤務(管理職)	受験したい	900～990	91～95	入学したい
46	会社勤務(管理職)	受験したい	900～990	91～95	入学したい
47	会社勤務(管理職)	受験したい	受験したことがない	91～95	入学したい
48	会社経営者・役員	受験したい	600～695	91～95	入学したい
49	会社経営者・役員	受験したい	700～795	91～95	入学したい
50	会社経営者・役員	受験したい	700～795	91～95	入学したい
51	会社経営者・役員	受験したい	900～990	91～95	入学したい
52	会社経営者・役員	受験したい	900～990	91～95	入学したい
53	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	700～795	91～95	入学したい
54	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	800～895	91～95	入学したい
55	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	800～895	91～95	入学したい
56	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	800～895	91～95	入学したい
57	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	800～895	91～95	入学したい
58	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	900～990	91～95	入学したい
59	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	900～990	91～95	入学したい
60	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	900～990	91～95	入学したい
61	公務員・教職員・非営利団体職員	受験したい	900～990	91～95	入学したい

※緑のマーカは入学条件の基準に達していないスコア。(いずれも TOEFL スコアで上回っているため、上記 61 人はすべて入学条件を満たしている。)

以上より、神奈川県立保健福祉大学が令和年 3 年 4 月に構想中である「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」への入学に必要な条件(保有学位および語学レベル)を満たした回答者より得られた入学意欲は 61 人となり、これは予定する入学定員 2 人を上回る結果となったことから、学生確保は問題ないと判断できる。

添付資料

WEB アンケートの質問画面

対象外条件 SC2_1 < 20 または SC2_1 > 79 (即時回答終了)

対象外条件 ((SC3 = 「5. 医師・獣医師」～「13. 農林漁業」) または (SC3 = 「15. パート・アルバイト」～「17. 大学生」) または SC3 = 「19. 無職」, 「20. その他の職業」) (即時回答終了)

対象外条件 (SC5 = 「1. 中学卒」～「6. 大学卒」) または SC5 = 「9. 上記以外」 (即時回答終了)

対象外条件 ((SC6 = 「1. 北海道」～「10. 群馬県」) または (SC6 = 「15. 新潟県」～「47. 沖縄県」)) (即時回答終了)

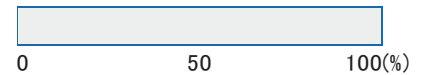
対象外条件 SC8 = 「2. 受験しない」 (即時回答終了)

対象外条件 ((SC7_1 = 「1. 10～395」～「5. 700～795」) または SC7_1 = 「8. 受験したことがない」) かつ ((SC7_2 = 「1. 0～49」～「5. 66～70」) または SC7_2 = 「13. 受験したことがない」) (即時回答終了)

アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC1

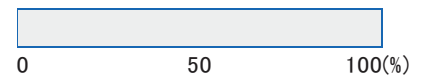
必須設定 回答必須

SC1

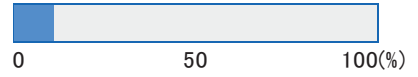
あなたの性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 どちらでもない・答えたくない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



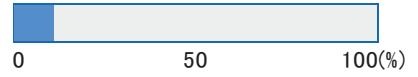
SC2

- 対象外条件** SC2_1 < 20 または SC2_1 > 79 (即時回答終了)
- カテゴリ 1.歳
- 必須設定** 回答必須
- 回答制御** 回答範囲「0~99」に該当しない場合はアラートを表示

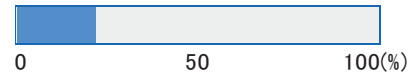
SC2
あなたの年齢をお答えください。

| 歳

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC3

必須設定

回答必須

対象外条件

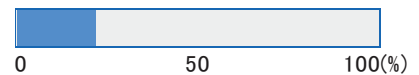
((SC3 = 「5. 医師・獣医師」～「13. 農林漁業」) または (SC3 = 「15. パート・アルバイト」～「17. 大学生」) または SC3 = 「19. 無職」, 「20. その他の職業」) (即時回答終了)

SC3

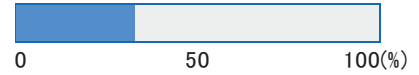
あなたの職業をお答えください。

- 1 会社勤務(一般社員)
- 2 会社勤務(管理職)
- 3 会社経営者・役員
- 4 公務員・教職員・非営利団体職員
- 5 医師・獣医師
- 6 薬剤師
- 7 看護師・保健師・助産師
- 8 その他の医療職
- 9 医療機関の事務職
- 10 派遣社員・契約社員
- 11 自営業(商工サービス)
- 12 SOHO
- 13 農林漁業
- 14 専門職(弁護士・税理士等)
- 15 パート・アルバイト
- 16 専業主婦(主夫)
- 17 大学生
- 18 大学院生
- 19 無職
- 20 その他の職業

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC4

必須設定

回答必須

回答者条件

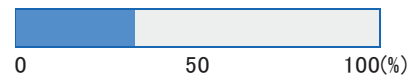
(SC3 = 「1. 会社勤務(一般社員)」～「4. 公務員・教職員・非営利団体職員」) または SC3 = 「14. 専門職(弁護士・税理士等)」

SC4

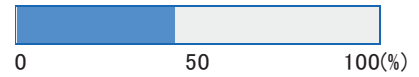
あなたのお勤め先等の主な業種についてお答えください。

- 1 土木・建設・不動産・住宅・建物サービス
- 2 飲料・食品・食品加工
- 3 化粧品・トイレットリー製品・ヘアケア製品
- 4 繊維・衣料
- 5 紙・パルプ・木材
- 6 日用雑貨・文具・事務用品
- 7 医療品・健康食品・薬品・化学・石油化学
- 8 鉄鋼・非鉄金属・金属・硝子・窯業・土石
- 9 電器・機械・輸送用機器
- 10 半導体・精密機器・コンピューター・通信機器
- 11 家電製品
- 12 自動車
- 13 その他製造業
- 14 出版・印刷
- 15 新聞・放送・マスコミ・広告
- 16 市場調査
- 17 商社・卸売
- 18 百貨店・スーパー・コンビニエンスストア
- 19 その他流通・小売業
- 20 運輸・倉庫・物流
- 21 電気・ガス・熱供給・水道
- 22 通信
- 23 ソフトウェア・情報処理
- 24 その他情報サービス業
- 25 銀行・信託・信金・信組
- 26 信販・消費者金融
- 27 証券・商品先物取引
- 28 生命保険・損害保険

- 29 その他金融業
- 30 外食・飲食サービス業
- 31 医療・福祉
- 32 理容・美容関連
- 33 その他サービス業
- 34 教育
- 35 行政サービス
- 36 農林・水産業
- 37 その他



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC5

必須設定

回答必須

回答者条件

(SC3 = 「1. 会社勤務(一般社員)」～「4. 公務員・教職員・非営利団体職員」) または SC3 = 「14. 専門職(弁護士・税理士等)」

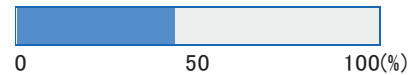
対象外条件

(SC5 = 「1. 中学卒」～「6. 大学卒」) または SC5 = 「9. 上記以外」(即時回答終了)

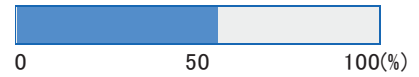
SC5

あなたの最終学歴をお答えください。

- 1 中学卒
- 2 高校卒
- 3 専門学校卒
- 4 短大卒
- 5 高専卒
- 6 大学卒
- 7 大学院(修士課程・博士前期課程)卒
- 8 大学院(博士課程・博士後期課程)卒
- 9 上記以外

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC6

必須設定

回答必須

対象外条件

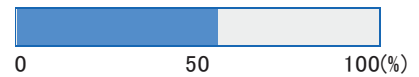
((SC6 = 「1. 北海道」～「10. 群馬県」) または (SC6 = 「15. 新潟県」～「47. 沖縄県」)) (即時回答終了)

SC6

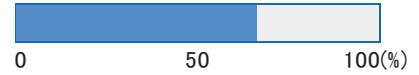
あなたのお住まいをお答えください。

--- ▼

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC7_1

必須設定

回答必須

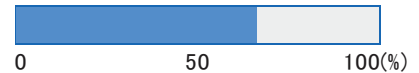
対象外条件

((SC7_1 = 「1. 10～395」 ～ 「5. 700～795」) または SC7_1 = 「8. 受験したことがない」) かつ ((SC7_2 = 「1. 0～49」 ～ 「5. 66～70」) または SC7_2 = 「13. 受験したことがない」) (即時回答終了)

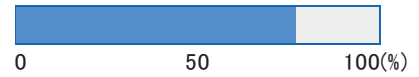
SC7_1

あなたの直近3年間のTOEIC(Listening & Reading Test)スコアを教えてください。

- 1 10～395
- 2 400～495
- 3 500～595
- 4 600～695
- 5 700～795
- 6 800～895
- 7 900～990
- 8 受験したことがない

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC7_2

必須設定

回答必須

対象外条件

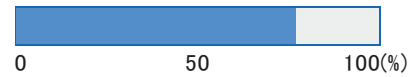
((SC7_1 = 「1. 10～395」～「5. 700～795」) または SC7_1 = 「8. 受験したことがない」) かつ ((SC7_2 = 「1. 0～49」～「5. 66～70」) または SC7_2 = 「13. 受験したことがない」) (即時回答終了)

SC7_2

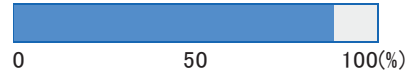
あなたの直近3年間のTOEFL(iBT)のトータルスコアを教えてください。

- 1 0～49
- 2 50～55
- 3 56～60
- 4 61～65
- 5 66～70
- 6 71～75
- 7 76～80
- 8 81～85
- 9 86～90
- 10 91～95
- 11 96～100
- 12 101～120
- 13 受験したことがない

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



SC8

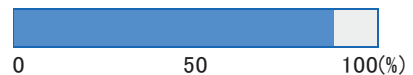
必須設定 回答必須

対象外条件 SC8 = 「2. 受験しない」(即時回答終了)

SC8
 あなたは2021年4月より開設する、神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したいと思いますか。
 ※画像をクリックして、ご確認をお願いします。

- 1 受験したい
- 2 受験しない

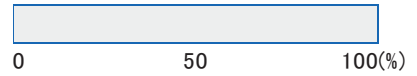
次へ



アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

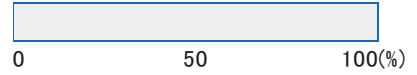


Q1 必須設定 回答必須

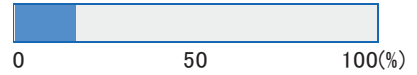
Q1
 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」を受験したい理由をお答えください。(いくつでも)

- 1 教育内容に興味・関心があるから
- 2 養成する人材像に共感できるから
- 3 希望するキャリアに近づけるから
- 4 少人数制の教育でじっくり学べるから
- 5 神奈川県や近隣企業と連携しているから
- 6 博士(公衆衛生学)の学位が授与されるから
- 7 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

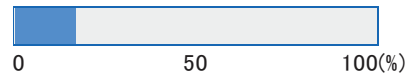


Q2 必須設定 回答必須

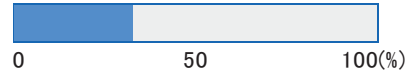
Q2
 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で行われる、英語による授業への印象について教えてください。

- 1 問題ない
- 2 心配はあるが、問題ないと思う
- 3 受講は難しい
- 4 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

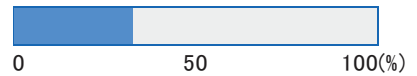


Q3 **必須設定** 回答必須

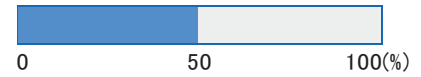
Q3
 神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で、特にどの分野の教育研究に関心がありますか。

- 1 公衆衛生学の5領域(疫学、生物統計学、社会行動学、保健医療管理学、環境保健学)に関する分野
- 2 研究倫理や研究法など、研究の推進に関する分野
- 3 データサイエンスに関する分野
- 4 グローバルな保健医療課題に関する分野
- 5 その他

次へ



※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

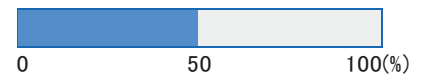


Q4

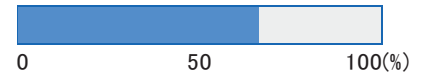
必須設定 回答必須

Q4
あなたが希望する通学スタイルについて教えてください。

- 1 学業に専念(仕事を離職)
- 2 学業に専念(仕事を休職)
- 3 働きながら学習(仕事の比重は減らす)
- 4 働きながら学習(仕事の比重を変えず)
- 5 その他

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)



Q5

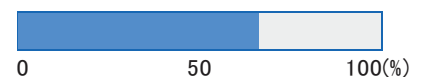
必須設定

回答必須

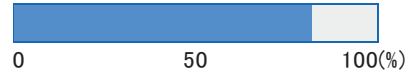
Q5

あなたが特に関心のある分野について、教えてください。(いくつでも)

- 1 疫学
- 2 生物統計学
- 3 社会行動科学
- 4 環境保健学
- 5 保健医療管理学
- 6 ビジネス戦略
- 7 ヘルスケアテクノロジー
- 8 データサイエンス
- 9 防災
- 10 都市計画
- 11 母子保健
- 12 レギュラトリーサイエンス
- 13 国際保健
- 14 医療政策
- 15 栄養・食品
- 16 プレゼンテーション
- 17 リーダーシップ論
- 18 バイオデザイン
- 19 その他

[次へ](#)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

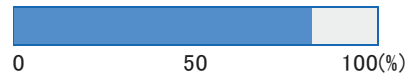


Q6 必須設定 回答必須

Q6
 あなたは神奈川県立保健福祉大学の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に合格した場合、入学したいですか。

- 1 合格した場合、入学したい
- 2 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

送信



以下は神奈川県立保健福祉大学が構想中の ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)の概要

公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程 (仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期:2021(令和3)年
- 開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限:3年
- 入学定員:2人
- 取得学位:博士(公衆衛生学) ※英訳 Doctor of Philosophy
- 養成する人材像:
 - ①高度研究人材…教育研究機関や企業内研究所などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる技術や社会システムの革新に関する高度な研究・開発を自ら行い、また牽引することができるリーダー人材
 - ②高度マネジメントリーダー…企業や非営利法人などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる革新的な技術やサービスを具体的に産業化・組織化し、グローバルに展開するために組織を牽引できるリーダー人材
 - ③高度ヘルスケアプロバイダ…病院をはじめとした保健医療サービスの提供組織などにおいて、地域のニーズに則したサービスを高度かつ効果的・効率的に提供するために組織を牽引することができるリーダー人材
 - ④高度ポリシーメーカー…国際機関や行政機関などにおいて、保健医療分野の課題解決に取り組む様々な組織・人材などを繋ぎ、保健医療課題の解決に資するエコシステムを構築することができるリーダー人材

研究科の教育と特色

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科博士課程では、公衆衛生学等の専門科目に加えて、次世代・次々世代社会をみすえたイノベーションを牽引する人材を育成するため、学生の興味関心に応じて、以下の内容を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	研究倫理や研究法、ヘルスイノベーション特論などの科目を学び、本専攻を修める全ての学生が共通して身につけるべき知識・教養・態度を習得する。
専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)を学ぶ。 さらに、データサイエンスやグローバルな保健医療課題に関してイノベーションの技法を用いて自ら課題解決に取り組むための知識・技法を学ぶ。
特別研究科目	学生の興味関心に応じた保健医療分野の具体的な課題を自ら設定し、博士論文を作成する。

【研究科の特色】

- 最先端技術等も含めた様々な専門領域の知恵を結集して保健医療課題にアプローチ。(トランスディシプリナリー教育)
- 主に夜間や土曜で授業を実施し、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 経験豊富な教員により、授業は原則全て英語で開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関と連携。
- 共通科目ではオンラインを併用した授業を行うことで、通学の負担を軽減し、学びやすい環境を整えます。

本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- 製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融機関、IT関連企業などの従事者
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

修了後の進路

受験資格

主に、次のいずれかに該当する方に受験資格があります。

- 修士の学位や専門職学位を有する者又は受験する年度末に当該学位を取得見込の者
- 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- 本学大学院において、出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、受験する年度末までに24歳に達する者

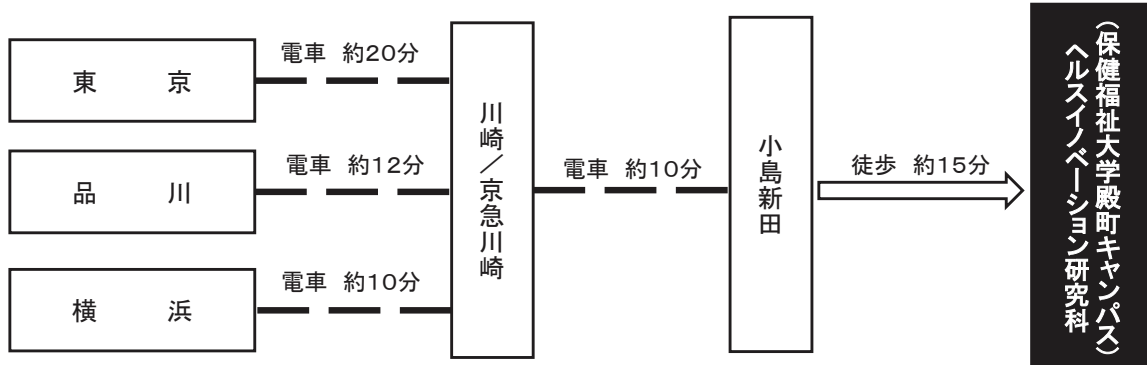
初年度学費（他の大学院含む）

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	その他	初年度学費
神奈川県立保健福祉大学大学院 ヘルスイノベーション研究科博士課程（仮称） 神奈川県川崎市	県内居住者 282,000 県外居住者 564,000	535,800	—	県内居住者 817,800 県外居住者 1,099,800
国立大学大学院	282,000	520,800	—	802,800
帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 東京都板橋区	300,000	780,000	200,000	1,280,000
慶応義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 神奈川県藤沢市	0	660,000	70,600	730,600
聖路加国際大学大 公衆衛生大学院 東京都中央区	400,000	1,200,000	300,000	1,900,000

※ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）の学費は予定です。
 ※他の大学院の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます（2019年12月時点）。
 ※その他、諸会費が必要な場合があります。

アクセス

国際戦略特区（※）に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。（住所：川崎市川崎区殿町3丁目地区）
 また、一部の科目ではオンラインを併用した授業を行うことで、通学の負担を軽減し、学びやすい環境を整えます。



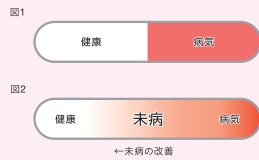
（※）ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

「未病」って何ですか？

「未病」は、ヘルスケア・ニューフロンティアの根幹となるコンセプトです。県では、図1のように、心身の状態を「健康か病気か」といった明確に二つに分けられるものとして捉えるのではなく、図2のように、心身の状態は健康と病気の間で常に連続的に変化するものとして捉えています。

「未病の改善」とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことです。



未病サミット神奈川2015 in 箱根

平成27年10月22日、23日に箱根町で開催された「未病サミット神奈川2015 in 箱根」において、「未病サミット神奈川宣言」が採択され、今後の取組みの方向性が示されました。県では、宣言の実現に必要な取組みを加速させていきます。



未病サミット神奈川宣言

神奈川県は世界でも病を恐れない、病のスピードで進む超高齢社会に直面しており、私たちは、これまでの社会システムでは立ち行かないという共通の危機感を有している。この大きな課題を乗り越えるために、私たちはこの神奈川県・箱根の地で、健康と病気の間で連続的に変化する状態である未病を基盤に、新たなヘルスケア・社会システムのあり方について議論を行い、次の取組みを推進し、世界に向けて発信することによって一致した。

- 医療だけでなく予防・行動を促すことでなく、将来の備忘のため、日常生活の中で自分の健康状態をチェックし、心身の状態の改善・維持に主体的に取り組むという行動変革を促す。
- こうした個人の行動変革を、学術・医療・産業・行政など多様な分野の主体が横断的に支えあえるともに、これらを行う人材育成を行う。また、新たなヘルスケア・社会システムを実現する様々な先端技術の追求や未病の科学的なエビデンスの蓄積により、この概念を国際化させる。
- そして、個人の未病状態の改善・維持に取り組むための行動の選択権と決定権は、受益者であり負担者でもある自己に帰属するという考えを基本とした、持続性ある新たな社会システムの形成を目指す。

我々は、未病を基盤としたこれらの取組みこそが、超高齢社会という人類共通の課題を乗り越えるモデルであることを、世界に向けて、ここに宣言する。

2015年10月23日

神奈川県
KANAGAWA

平成28年7月

「未病」がつくる健康長寿社会

神奈川発！ 超高齢社会への挑戦
ヘルスケア・ニューフロンティア

**「かんたん、あんしん、べんり」に健康管理！
マイME-BYOカルテに登録しよう！**

「マイME-BYOカルテ」とは、健康情報やお薬情報等をパソコンやスマートフォンで登録・閲覧できるアプリケーションです。健康情報やお薬情報等を登録し、外出先などいつでもどこでも必要なときに自分の情報が閲覧できます。また、本人だけでなく、ご家族の情報も一括管理することができます。さらに、災害時に活用できる仕組みの構築にも取り組んでいます。登録・利用は無料です。自身の健康状態や未病状態を「見える化」できる、「マイME-BYOカルテ」をぜひご利用ください。

お問い合わせ先

検索

神奈川県 企画課 ヘルスケア・ニューフロンティア推進事務局
神奈川県 横浜市中区日本大通り 電話 (045)218-1111 <http://www.pref.kanagawa.jp/34/021/>

Healthcare New Frontier

資料7



神奈川発！ 超高齢社会への挑戦 ヘルスケア・ニューフロンティアの実現に向けて

高度成長期に人口が急激に増加した神奈川県では、今後、圧倒的なスピードで高齢化が進んでいきます。急激な人口構造の変化は、私たちの社会を根底から変えてしまいます。超高齢社会では、年金や医療など現在の社会システムを続けていくことは、不可能な状況になっていきます。こうした状況を乗り越え、持続可能な社会システムに転換していくために、神奈川県が推進しているのが、「ヘルスケア・ニューフロンティア」です。最先端の医療の提供や、最先端技術の研究開発を行う環境が整っている神奈川の強みを生かして、「未病の改善」と「最先端医療・最先端技術の追求」という2つのアプローチを一緒に進めることで、健康寿命を延ばし、新たな産業を創出し、そして新しい社会システムを創り出すための政策です。神奈川発の挑戦といえる「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取組みをご理解いただき、一人ひとりの皆さんが担い手となって実践していただくことで、一緒に新しい時代を創り出していきます。

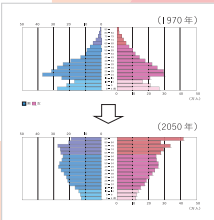
神奈川県知事 黒岩 祐治

何が問題なのですか？

圧倒的なスピードで「超高齢社会」が進展

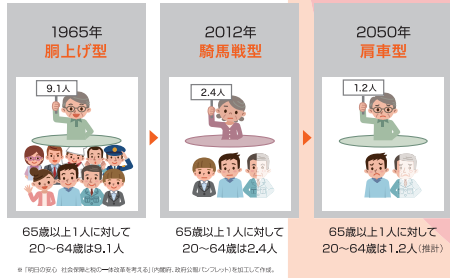
神奈川県は人口構造が逆転します

1970年にはきれいなピラミッド型をしていた人口構造が、2050年には完全に逆転してしまいます。神奈川県は全国と比べても速いスピードで高齢化が進むと見込まれています。



継続が困難になる社会システム

社会保障制度など現在の社会システムは多数の現役世代が少数の高齢者を支えることを想定しています。少子高齢化の進展により、現在の社会システムでは対応することが難しくなります。



どのように取り組むのですか？

ヘルスケア・ニューフロンティアで新しい社会システムを創出

未病の改善

県では、現在の心身の状態だけでなく将来の状態を、より健康な状態に近づけていく「未病の改善」に向けて、企業や大学・研究機関、市町村等と連携して様々な取組みを進めています。

未病産業の創出

未病状態の改善・維持につながる商品、サービスを提供する未病産業を創出するため、未病産業研究会を設立し、展示会の開催や未病の科学的なエビデンス(裏付け)の確立、ME-BYO等の商標登録などの取組みを進めています。

ME-BYO ハウス・ラボ

ME-BYO ハウス・ラボは、モデルハウスの中に最新機器を導入し、日常生活の中で健康状態のモニタリングを行い、「未病の見える化」を目指す取組みです。心拍・血圧などの生体情報のほか、生活習慣情報、外部環境情報などを収集・蓄積しています。

CHO構想の普及と拡大

(CHO: Chief Health Officerの略)

CHO構想は、企業等が健康に関する責任者を定め、経営の一部として従業員やその家族の健康増進に取り組む、健康経営の普及・拡大を図るものです。県ではCHO構想推進コンソーシアム(写真)を設立し、導入効果の見える化などの取組みを地域の経済団体や市町村等とともに進めています。

3つの特区の活用

神奈川県は「国家戦略特区」「成長産業部サイバースペーション国際戦略特区」「そがみ口ポータル産業特区」に指定されています。各特区には、規制緩和や税制・財政・金融上の優遇措置などがあり、他にないビジネス環境を整備されています。

この政策を支える
主な取組みを紹介します

「未病の改善」と「最先端医療・最新技術の追求」という2つのアプローチを融合し、超高齢社会に対応した新しい社会システムを創り出すための政策が「ヘルスケア・ニューフロンティア」です

再生・細胞医療の実用化と産業化の促進

羽田空港に隣接し、ライフサイエンス産業の集積が進む川崎市麻生町地区に「ライフイノベーションセンター(LIC)」を整備しました。県では同センターを拠点として、企業や研究機関等の取組みを支援するなど、再生・細胞医療の早期実用化に取り組んでいます。

ヘルスケア・ロボット産業の創出

例えば失われたり衰えた歩行機能の回復などに役立つ最先端のロボット技術を積極的に取り入れ、超高齢社会を取りこめる持続可能な社会システムの構築を目指しています。

臨床研究体制の強化

大学や企業等が持つ先進的な技術や、いち早く医薬品等として実用化するため、医療機関で行われる臨床研究等について、その計画や体制づくりを支援します。

情報通信技術(ICT)の活用

企業や市町村等と連携して、個人の健康情報や家族情報を「見える化」するアプリケーション「マイME-BYOカルテ」の普及に取り組んでいます。登録情報を日々の健康状態の把握だけでなく災害時にも活用できるシステムの構築を目指しています。

最先端医療 最新技術の追求

ライフサイエンス分野の産業や研究機関の集積が進んでいる強みを生かして、産学官連携により、革新的な医薬品・医療機器・再生医療等製品の開発・実用化に向けた取組みを進めています。

国際的な医療人材の育成

医療医療の分野で国際的に活躍できる人材を育成するため、神奈川県立保健福祉大学大学院に「デジタルイノベーションスクール」の開設を予定しています。国内外の大学や研究機関と連携した実践的な教育研究を行い、新たな社会システムや最先端医療技術を生み出す人材を養成します。

何が実現できるのですか？

将来への不安を感じることなく、すべての人が健康で生き生きと心豊かに暮らすことができる「安心・健康・生きがい」社会を実現します

健康寿命の延伸

未病を改善することで、健康寿命が延び、家族や社会の助けを借りることなく、長い期間、仕事や趣味、社会参加などで活動できるようになります。

最適な医療の提供

遺伝子情報など個人の特性に応じた医療(個別化医療)や再生・細胞医療などの実用化が進むことで、最適な医療が受けられるようになります。

生活の質の向上

様々な測定機器を使って、日常生活の中で健康情報を収集・分析し、自分の未病状態をチェックできるようになることで、ライフスタイルの見直しにつながり、生活の質が向上します。

地域経済の活性化

成長の期待されるヘルスケア関連産業が集積・拡大することで、革新的な製品の開発が加速するだけでなく、地域経済が活性化し、雇用機会も増大します。

ヘルスケア・ニューフロンティアの政策の詳細な内容や、県が取り組む事業の説明、未病関連イベントの最新情報などについては、県のホームページからご覧いただけます。

ヘルスケア・ニューフロンティア 検索

神奈川県立保健福祉大学

「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」

設置構想に係る人材需要アンケート調査報告書

令和 2 年 2 月

株式会社高等教育総合研究所

目次

設置構想に係る人材需要アンケート調査 <アンケート用紙を活用した調査>

- | | | |
|---|------------|---|
| 1 | 調査の概要 | 1 |
| 2 | 全質問項目の集計結果 | 2 |
| 3 | 集計結果のポイント | 7 |

添付資料（実施したアンケート）

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）設置構想に係る

採用意向アンケート調査（WEB 画面）

1 調査の概要

- ◆調査の目的 : 本調査は、神奈川県立保健福祉大学の大学院ヘルスイノベーション研究科が令和3年4月設置に向けて構想中の「ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」の修了生の就職におけるニーズを、アンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間 : 令和2年1月～2月

- ◆調査対象 : 令和3年4月設置をめざすヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）の修了生の採用が期待できる企業・団体として、神奈川県が主催する未病産業研究会に加入している企業・団体、507件を対象とした。

- ◆調査方法 : 各企業の人事責任者・事業管理者・事業責任者を対象に、アンケートの画面設定を行った URL をメール送信し、回答を待った。

- ◆調査内容 : アンケート項目は全9問で、8問が選択肢式、1問が記述式とした。
主な質問内容は、以下の通りである。
 - 『企業・団体の基本情報』
 - 『企業・団体が大学院生を採用する際に重視する点について』
 - 『ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）の修了生の採用見込みについて』

- ◆回収件数 : 27件 (配信件数 507件 / 回収率 5.3%)

2 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

2～6ページは、アンケートで回答を得た27件の回答結果に基づく全質問項目の集計結果である。

問1 貴社・貴団体の業種をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
農業・林業・漁業	0	0.0%
鉱業	0	0.0%
建設業	0	0.0%
製造業	10	37.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
情報通信業	2	7.4%
運輸業	0	0.0%
卸売・小売業	1	3.7%
金融業・保険業	1	3.7%
不動産業	0	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	0	0.0%
生活関連サービス業・娯楽業	1	3.7%
教育・学習支援業	0	0.0%
医療・福祉	8	29.6%
その他サービス業	3	11.1%
公務	0	0.0%
その他	1	3.7%
計	27	100.0%

問2 貴社・貴団体の所在地(本社・主たる事業所)をお答えください。

※ 回答のあった選択肢のみ掲載

選択項目	回答数	構成比
神奈川県	14	51.9%
東京都	13	48.1%
計	27	100.0%

問3 貴社・貴団体の従業員・職員数をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
～50人	15	55.6%
51～100人	2	7.4%
101～500人	3	11.1%
501～1,000人	0	0.0%
1,001人～	7	25.9%
計	27	100.0%

問4 貴社・貴団体において、大学院生を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は、回答した27件のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
専門的な知識	19	70.4%
マネジメント能力	6	22.2%
創造的思考力	18	66.7%
目的達成志向	16	59.3%
忍耐力・持続力	9	33.3%
人的ネットワーク	5	18.5%
表現力	10	37.0%
交渉力	8	29.6%
その他	8	29.6%

問5 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に対して、どれくらい興味がありますか。

選択項目	回答数	構成比
かなり興味がある	6	22.2%
やや興味がある	8	29.6%
どちらとも言えない	12	44.4%
興味がない	1	3.7%
計	27	100.0%

問6 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」で養成する人材について、社会的なニーズはどの程度あると思われますか。

選択項目	回答数	構成比
ニーズが非常に高い	7	25.9%
ある程度ニーズがある	13	48.1%
どちらとも言えない	7	25.9%
ニーズはない	0	0.0%
計	27	100.0%

問7 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」は、社会人が働きながら通えるように、講義時間を主に平日夜間と土曜日とする予定です。貴社・貴団体から従業員を派遣していただく可能性はありますか。

選択項目	回答数	構成比
ぜひ派遣したい	2	7.4%
派遣を検討したい	7	25.9%
どちらとも言えない	13	48.1%
難しい	5	18.5%
計	27	100.0%

問8 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」の修了生を、貴社・貴団体で採用したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
採用したい	2	7.4%
採用を検討したい	15	55.6%
採用は検討しない	10	37.0%
計	27	100.0%

問9 神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ 15件から回答を得た。

業種	自由記述
製造業	業界、学閥、行政の縦割りなどに囚われず活躍できる人材を育成してほしい。
製造業	県のヘルスケア政策のアカデミアの中核となって、企業連携のハブになるような機能を持たせることができれば、価値が出てくると思います。
製造業	働き方改革が叫ばれる中で、社用として学ぶのであれば、それがたとえ個人スキルになるとしても、当然就業時間と考えられ、働きながら通えるということには当てはまらないと考える。
情報通信業	実際に良いモデルが出来ていない現実で教える事が出来るのか疑問に思う。
卸売・小売業	海外展開では博士号のニーズは高まっています。日本もこの流れが早期に訪れるものと感じております。
生活関連サービス業・娯楽業	従来の医療や保健福祉の形と一線を画してほしい。慢性疾患などに見られるように「一生患者」「結局は治らない」というような今の医療の在り方では意味がないと思います。それよりもイノベーションというくらいですから「健康な人をより健康にする」「人生の目標や目的の達成のために必要な心身の状態を実現する」など「病気・疾患・障害」といった観点とは切り離し、積極的な健康創造に寄与するような全く新しい取り組みがなされることを期待します。そういう方向性なら私自身が学生となって推進したいくらいです。
医療・福祉	私の専門は歯科の「咬み合わせ」です。現在『オーラルフレイル』と言う切り口で歯科界に入ってきていますが、『フレイル』は本来加齢に伴う生体機能の弱体化(老化現象)と言う意味になります。『未病』は、年齢に関係なく恒常性の崩れ始めた生体の機能の変化です。そのため、『オーラル未病』という見解を認識していただければ、対象年齢の枠が広がります。歯科における初期う蝕(虫歯)、歯肉炎、早期接触、不適合義歯や冠などが、まさに『口腔未病』の初期段階です。歯科健診を受診しない方々の多くは、潜在疾病(本人が気づいていない、気付いているが対応を知らないか無関心)として現存しています。そのような未病者の方々(高齢者に限らず介護者や家族)に、歯ブラシ指導や、マウスピース治療、シュガーコントロール(食事指導)などの情報の共有などや指導法、対処法、『オーラル未病』診査法や教育マニュアルなどの最新の研究を期待しています。
医療・福祉	地域包括ケアシステムは医療、介護の連携を含めてのまちづくりですが、全てを統括するプロデューサーが必要であるため、それを担える人材が必要だと思います。また、医療、介護とも支える側の人が極端に減少するため、日本の医療、介護が回せる仕組みを考えられることが必要だと思います。
医療・福祉	社会のニーズにこたえる実践的な研究課題に取り組みいただくことを期待します。
医療・福祉	ヘルスケアに関する幅広い情報および経験を有し、関連する技術等に関するネットワークも構築できる、自分自身で課題を解決するための施策を策定できる能力を磨いてほしいと思います。

医療・福祉	神奈川県知事が未病産業として要請した大学院ですから、生活習慣病に運動は欠かせません。25年間のプロダンサー達が自分達の身体の動きを自ら分析し創り上げた、日本初の「脳トレリズム体操」「脳トレダンスエクササイズ」です。教科書もほぼ完成です。就職後も活動出来ますし、自分自身の健康に役立ちます。第二の名刺を差し上げます。インストラクター養成後は素敵な社会活動が出来ます。
医療・福祉	あらゆる観点からヘルスイノベーションを定義し(科学にとどまらない)、統合的に実現を見目指すようなカリキュラムを設定することを期待します。
その他のサービス業	スポーツと健康、医療、および福祉との融合。健康、医療、福祉に精通したスポーツ指導者の育成。
その他のサービス業	今後、社会では必要となる人材とは考えます。弊社で今後関わる領域化は、今時点は明言できる状況では無いです。
その他	机上の理論修得だけでなく実技や対人コミュニケーション能力も修得出来たら良いと思います。

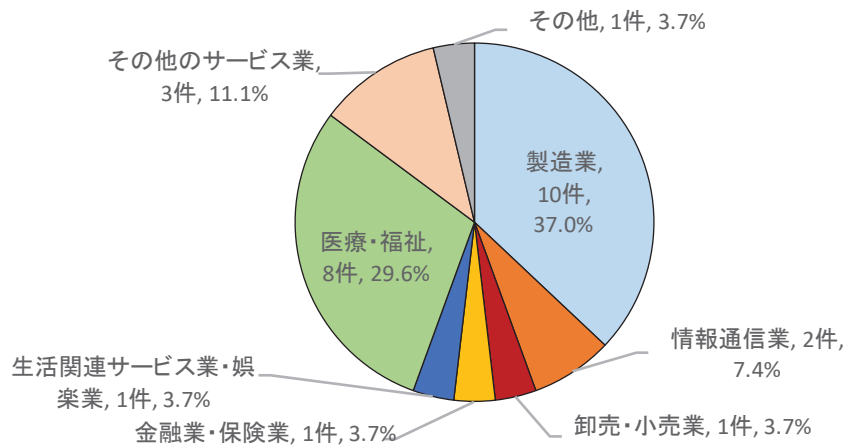
3 集計結果のポイント

※「構成比」(%)はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

- 「製造業」「医療・福祉」からの回答が多く、それぞれ3割を占める。

回答を得た27件のうち、「製造業」(10件、37.0%)と「医療・福祉」(8件、29.6%)からの回答が多かった。選択肢として設定した17業種のうち、8業種より回答を得られた。

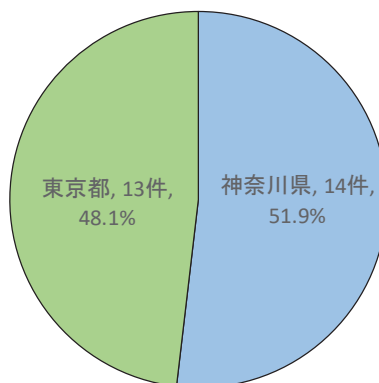
グラフ 回答元の業種 (「問1」結果より)



- 5割ずつ、神奈川県と東京都に所在する企業・団体からの回答。

回答を得た27件の所在地として、51.9%にあたる14件が神奈川県、48.1%にあたる13件が東京都で、この2都県のみで構成されている。

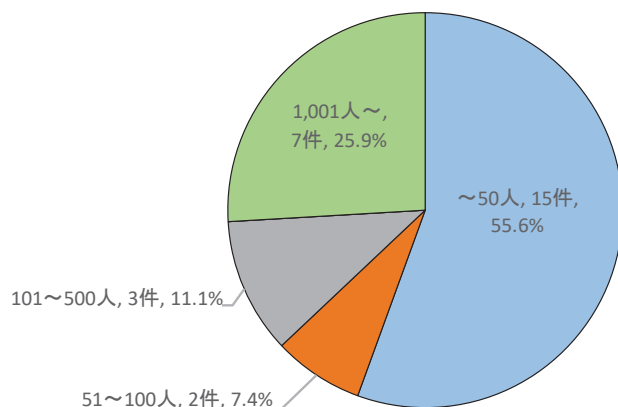
グラフ 回答元の所在地 (「問2」結果より)



● 従業員規模として、「～50人」が4割、「1,001人～」が約3割。

従業員規模として、もっとも多い回答は「～50人」で、55.6%にあたる15件が回答した。2番目に多い回答は「1,001人～」で25.9%にあたる7件であり、幅広い規模による企業・団体からの回答を得られた。

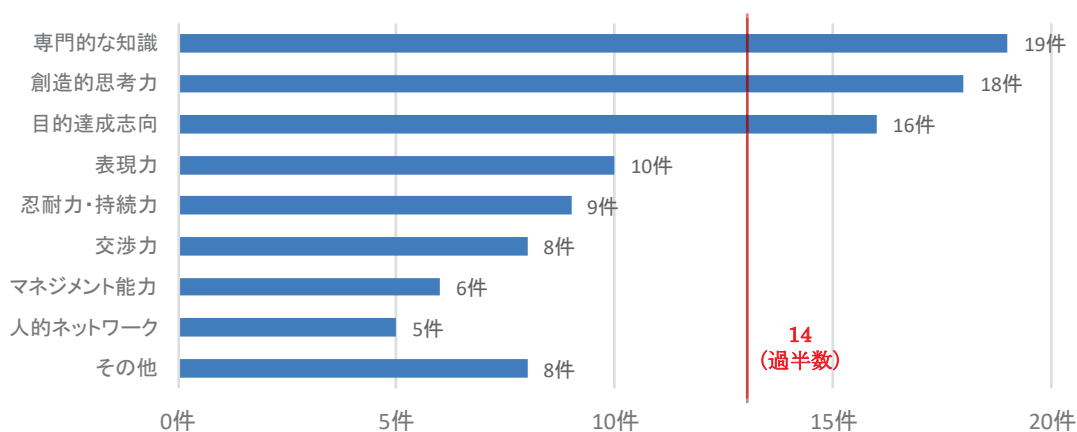
グラフ 回答元の従業員規模（「問3」の結果より）



● 大学院生の採用時は、「専門的な知識」、「創造的思考力」、「目的達成志向」を重視。

大学院生採用の際に重視する能力・体験等として、「専門的な知識」（19件、70.4%）、「創造的思考力」（18件、66.7%）、「目的達成志向」（16件、59.3%）への回答が目立ち、半数以上回答した。

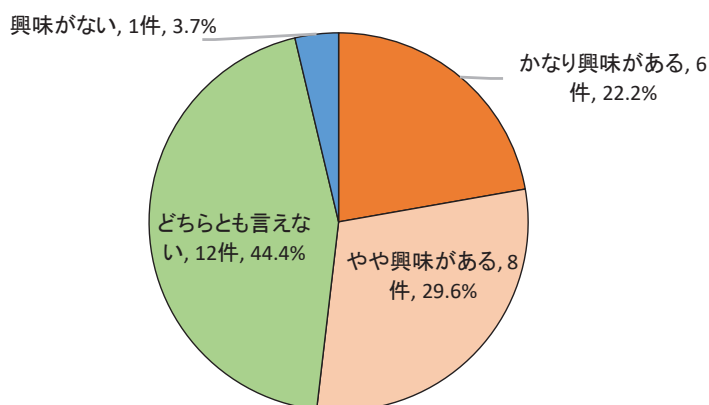
グラフ 大学院生採用時に重視する能力・体験（「問4」結果より）※複数回答の結果、回答数が多い順



● 5割の回答者が、神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院に「興味がある」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」に対し、「かなり興味がある」に 6 件（22.2%）、「やや興味がある」に 8 件（29.6%）が回答した。合計で 51.9%にあたる 14 件が、興味を示した。

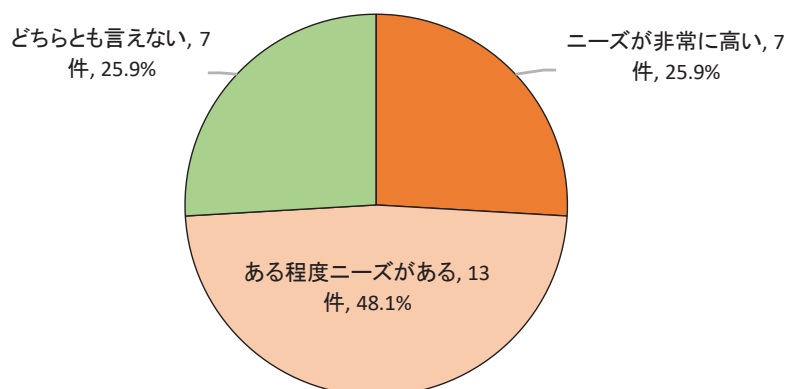
グラフ 神奈川県立保健福祉大学が構想中の大学院博士課程への興味度（「問5」結果より）



● 7割以上が、構想中の大学院博士課程で養成す人材について「ニーズがある」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）」で養成する人材への社会的なニーズについて、7 件（25.9%）が「ニーズが非常に高い」、13 件（48.1%）が「ある程度ニーズがある」と回答し、合計で 74.1%にあたる 20 件より、ニーズを示す回答を得られた。

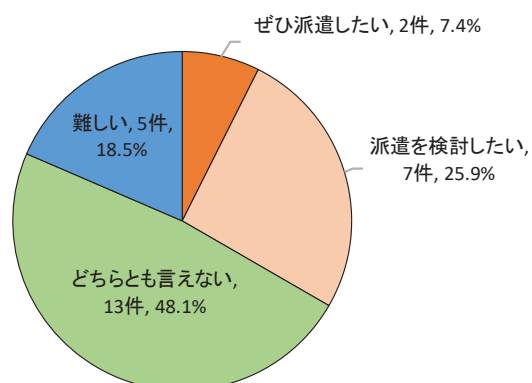
グラフ 構想中の大学院博士課程で養成する人材の社会的ニーズ（「問6」結果より）



● 3割が、従業員を構想中の大学院へ「派遣したい」と回答。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」への従業員の派遣について、「ぜひ派遣したい」に2件(7.4%)、「派遣を検討したい」に7件(25.9%)が回答した。合計で33.3%にあたる9件が、従業員の派遣について意欲を示した。

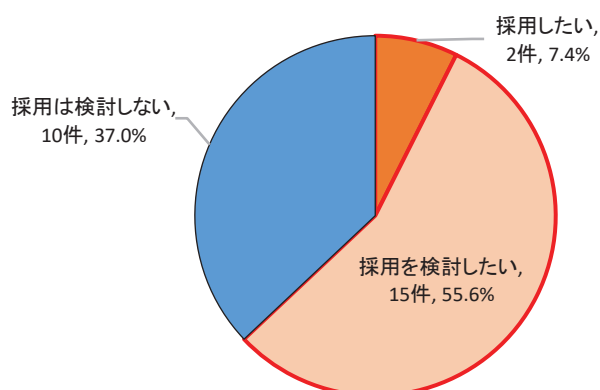
グラフ 構想中の大学院博士課程への従業員派遣に対する興味度(「問7」結果より)



● 入学定員2人を上回る、17件の採用意欲を示す回答を得る。

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」の修了生について、2件(7.4%)が「採用したい」、15件(55.6%)が「採用を検討したい」と回答し、合計で63.0%にあたる17件が採用意欲を示した。本博士課程が予定する入学定員2人であり、それを上回る採用意欲が得られた。

グラフ 構想中の大学院博士課程修了生の採用意欲(「問8」結果より)



以上より、神奈川県立保健福祉大学が令和3年4月設置に向けて構想中の「大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程(仮称)」の人材需要の見通しは、予定する入学定員を上回る採用意欲を得たため、十分な需要があると判断できる。

添付資料

(実施したアンケート)

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）設置構想に係る
採用意向アンケート調査（WEB 画面）

神奈川県立保健福祉大学大学院
ヘルスイノベーション研究科 ヘルスイノベーション専攻
博士課程（仮称・設置構想中）
設置構想に係る採用胃意向アンケート調査

必要事項をご入力の上、送信ボタンを押してください。

よろしければ、貴社・貴団体名をご入力ください。

問1
貴社・貴団体の業種をお答えください。*

- 農業・林業・漁業
- 鉱業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売・小売業
- 金融業・保険業
- 不動産業
- 宿泊業・飲食サービス業
- 生活関連サービス業・娯楽業
- 教育・学習支援業
- 医療・福祉
- その他サービス業
- 公務
- その他

業種が「その他」の場合、ご入力ください。

問2
貴社・貴団体の所在地（本社・主たる事業所）をお答えください。*

----- 選択してください ----- ▼

問3
貴社・貴団体の従業員数をお答えください。*

- ~50人
- 51~100人
- 101~500人
- 501~1,000人
- 1,001人~

問4
貴社・貴団体において、大学院生を採用する際に、重視する能力・体験等をお答えください。
（複数回答可）*

- 専門的な知識
- マネジメント能力
- 創造的思考力
- 目的達成志向
- 忍耐力・持続力
- 人的ネットワーク
- 表現力
- 交渉力
- その他

大学院生を採用する際に、重視する能力・体験等として、上記以外のものがあればご入力ください。

※ 以下の問5以降にお答えいただく前に神奈川県立保健福祉大学が構想中の「[大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）](#)」の概要をご覧ください。

問5

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「[大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）](#)」に対して、どれくらい興味がありますか。 *

- かなり興味がある
- やや興味がある
- どちらとも言えない
- 興味がない

問6

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「[大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）](#)」で養成する人材について、社会的なニーズはどの程度あると思われますか。 *

- ニーズが非常に高い
- ある程度ニーズがある
- どちらとも言えない
- ニーズはない

問7

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「[大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）](#)」は、社会人が働きながら通えるように、講義時間を主に平日夜間と土曜日とする予定です。貴社・貴団体から従業員を派遣していただく可能性はありますか。 *

- ぜひ派遣したい
- 派遣を検討したい
- どちらとも言えない
- 難しい

問8

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「[大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）](#)」の修了生を、貴社・貴団体で採用したいと思いますか。 *

- 採用したい
- 採用を検討したい
- 採用は検討しない

問9

神奈川県立保健福祉大学が構想中の「[大学院ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程（仮称）](#)」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。
(1,000文字以内)

送信

ご登録される情報は、暗号化された通信(SSL)で保護され、プライバシーマークやISO27001/JIS Q 27001, ISO20000-1, ISO9001の認証を取得している [株式会社パイブドビッツ](#)による[情報管理システム「スパイラル」](#)で安全に管理されます。



公衆衛生学の十分な知識と多様な先端領域に関する技術を学び、健康課題を解決する。

ヘルスイノベーション研究科ヘルスイノベーション専攻博士課程

(仮称・設置構想中)

研究科の概要

- 開設時期:2021(令和3)年
- 開設場所:神奈川県川崎市(保健福祉大学殿町キャンパス)
- 修業年限:3年
- 入学定員:2人
- 取得学位:博士(公衆衛生学) ※英訳 Doctor of Philosophy
- 養成する人材像:

- ①高度研究人材…教育研究機関や企業内研究所などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる技術や社会システムの革新に関する高度な研究・開発を自ら行い、また牽引することができるリーダー人材
- ②高度マネジメントリーダー…企業や非営利法人などにおいて、保健医療分野の課題解決に繋がる革新的な技術やサービスを具体的に産業化・組織化し、グローバルに展開するために組織を牽引できるリーダー人材
- ③高度ヘルスケアプロバイダ…病院をはじめとした保健医療サービスの提供組織などにおいて、地域のニーズに則したサービスを高度かつ効果的・効率的に提供するために組織を牽引することができるリーダー人材
- ④高度ポリシーメーカー…国際機関や行政機関などにおいて、保健医療分野の課題解決に取り組む様々な組織・人材などを繋ぎ、保健医療課題の解決に資するエコシステムを構築することができるリーダー人材

【研究科で実施される教育の内容】

ヘルスイノベーション研究科博士課程では、公衆衛生学等の専門科目に加えて、次世代・次々世代社会をみずえたイノベーションを牽引する人材を育成するため、学生の興味関心に応じて、以下の内容を分野横断的に幅広く学ぶことができます。

共通科目	研究倫理や研究法、ヘルスイノベーション特論などの科目を学び、本専攻を修める全ての学生が共通して身につけるべき知識・教養・態度を習得する。
専門科目	公衆衛生学のコアとなる5領域(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学)を学ぶ。 さらに、データサイエンスやグローバルな保健医療課題に関してイノベーションの技法を用いて自ら課題解決に取り組むための知識・技法を学ぶ。
特別研究科目	学生の興味関心に応じた保健医療分野の具体的な課題を自ら設定し、博士論文を作成する。

【研究科の特色】

- 最先端技術等も含めた様々な専門領域の知恵を結集して保健医療課題にアプローチ。(トランスディシプリナリー教育)
- 主に夜間や土曜で授業を実施し、働きながら学べるよう教育環境を配慮。
- 経験豊富な教員により、授業は原則全て英語で開講。
- 少人数制によるメリットを活かして、大学院生一人ひとりを手厚くサポート。
- 神奈川県内の様々な企業・研究機関と連携。

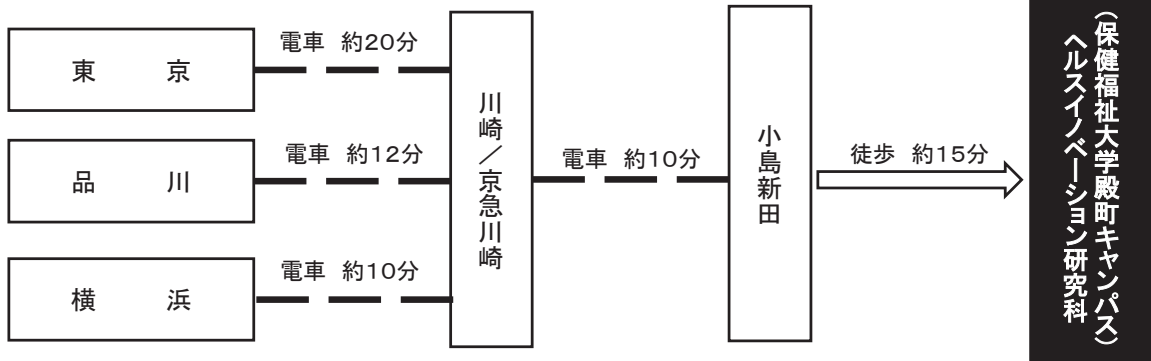
修了後の進路

本研究科で身につけた能力を、多様な分野で活かすことが期待されます。

- 製薬企業、ヘルスケア関連企業、金融機関、IT関連企業などの従事者
- 公的機関の職員(地方自治体、海外の公的機関の公衆衛生行政担当など)
- 研究者(大学、研究機関、企業の研究者など)
- 保健医療機関の従事者、管理経営者(病院、診療所など)

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。

国際戦略特区(※)に指定された川崎市川崎区殿町で教育を受けます。(住所:川崎市川崎区殿町3丁目地区)



(※)ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「国際戦略拠点」として特区に指定されています。

※ 上記の内容は構想中のものであり、変更となる場合があります。